

令和6年9月3日

【照会先】

保険局 調査課

課長 鈴木 健二 (内線3291)

課長補佐 竹本 隆 (内線3375)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2579

報道関係者 各位

「令和5年度 調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表します

～調剤医療費（電算処理分）の年度集計結果～

厚生労働省では、毎月、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に把握するため、電算処理分のレセプトを集計した「調剤医療費（電算処理分）の動向」を公表しています。

このたび、令和5年度の集計結果がまとまりましたので公表します。

本調査は調剤レセプトデータを集約することで、調剤医療費の動向及び薬剤の使用状況等を迅速に明らかにし、医療保険行政のための基礎資料を得ることを目的としたものです。

【調査結果のポイント】

- 令和5年度の調剤医療費（電算処理分に限る。以下同様。）は8兆2,678億円（伸び率+5.5%）であり、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,343円（伸び率▲0.5%）であった。

その内訳は、技術料が2兆2,474億円（伸び率+5.7%）、薬剤料が6兆41億円（+5.5%）、特定保険医療材料が162億円（伸び率+1.2%）であり、薬剤料のうち、後発医薬品が1兆1,611億円（伸び率+3.2%）であった。【表1、表2】

- 処方箋1枚当たりの調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では10,964円と、0歳以上5歳未満の3,470円の約3.2倍であった。【表3】

- 後発医薬品割合は、令和5年度末の数量ベース（新指標）で85.3%（伸び幅+1.5%）、数量ベース（旧指標）で60.2%（伸び幅+0.3%）、薬剤料ベースで19.7%（伸び幅▲1.0%）であり、後発医薬品調剤率が81.3%（伸び幅+1.0%）であった。【表4】

- 内服薬の処方せん1枚当たり薬剤料の伸び率は▲1.0%となっており、この伸び率を「処方せん1枚当たり薬剤種類数の伸び率」、「1種類当たり投薬日数の伸び率」、「1種類1日当たり薬剤料の伸び率」に分解すると、各々+1.0%、▲3.4%、+1.4%であった。【表5】

- 令和5年度の調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科では病院が3兆4,105億円(+3.5%)、診療所が4兆8,274億円(+7.0%)であり、令和5年度末の後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で、病院が85.2%(伸び幅+1.4%)、診療所が85.3%(伸び幅+1.6%)であった。また、制度別でみた場合、最も高かったのは公費の90.8%(伸び幅+0.7%)、最も低かったのが国保組合で83.7%(伸び幅+1.7%)であった。【表14、表15】
- 令和5年度末の後発医薬品割合を、数量ベース(新指標)の算出対象となる医薬品について、薬効大分類別にみると、薬効大分類別の構成割合が最も大きい循環器官用薬は88.5%、次いで大きい中枢神経系用薬は80.5%であった。【表16】

「令和5年度 調剤医療費(電算処理分)の動向」は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。

ホームページアドレス (<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/database/>)

【調査概要】

- 調査方法 「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく行政記録情報である「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から調剤報酬明細書情報の提供を受け、集計・分析を行う。
- 調査対象 「匿名レセプト情報・匿名特定健診等情報データベース(NDB)」から提供された令和5年度の調剤報酬明細書情報 合計約7.4億件分

調剤医療費(電算処理分)の動向の概要 ～令和5年度版～

1. 調剤医療費等の全数と電算処理分の比較

令和5年度の調剤医療費(電算処理分に限る。以下同様。)は8兆2,678億円(対前年度同期比(伸び率という。以下同じ)+5.5%)で、処方箋1枚当たり調剤医療費は9,343円(▲0.5%)であった。

なお、電算処理割合は、平成21年度以降、医療費ベース、処方箋枚数ベースともに99%に達しており、処方箋1枚当たり調剤医療費について、調剤レセプト全体と電算処理分を比較すると、その差は0.1%程度となっている。

表1 調剤医療費総額、処方箋枚数及び処方箋1枚当たり調剤医療費

		実数						対前年度比(%)				
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全数	調剤医療費(億円)	74,746	77,464	75,447	77,515	78,821	83,077	3.6	▲2.6	2.7	1.7	5.4
	処方箋枚数(万枚)	84,361	84,284	76,497	80,205	83,762	88,759	▲0.1	▲9.2	4.8	4.4	6.0
	1枚当たり調剤医療費(円)	8,860	9,191	9,863	9,665	9,410	9,360	3.7	7.3	▲2.0	▲2.6	▲0.5
電算処理分	調剤医療費(億円)	74,279	77,025	74,987	77,059	78,332	82,678	3.7	▲2.6	2.8	1.7	5.5
	電算化率(%)	99.4	99.4	99.4	99.4	99.4	99.5	—	—	—	—	—
	処方箋枚数(万枚)	83,930	83,869	76,135	79,870	83,401	88,489	▲0.1	▲9.2	4.9	4.4	6.1
	電算化率(%)	99.5	99.5	99.5	99.6	99.6	99.7	—	—	—	—	—
	1枚当たり調剤医療費(円)	8,850	9,184	9,849	9,648	9,392	9,343	3.8	7.2	▲2.0	▲2.7	▲0.5
	電算処理分/全数	0.999	0.999	0.999	0.998	0.998	0.998	—	—	—	—	—

注1) 「調剤医療費」とは、調剤報酬明細書に記録された「点数」に10を乗じたものである。

注2) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

注3) 「全数」とは、医療保険及び公費負担医療で支給の対象となる医療費(患者負担分を含む。)のうち、審査支払機関による審査分(再審査分等調整前)を集計対象としたものである。

注4) 「電算処理分」とは、「全数」のうち、レセプト電算処理システムにより処理された明細書(いわゆる「電子レセプト」)を集計対象としたものである。次表以降、特に注意書きがない場合、「電算処理分」の集計値である。

2. 調剤医療費の内訳

調剤医療費の内訳は、技術料が2兆2,474億円(伸び率+5.7%)、薬剤料が6兆41億円(+5.5%)で、特定保険医療材料料が162億円(+1.2%)であった。

処方箋1枚当たり調剤医療費は9,343円(伸び率▲0.5%)で、その内訳は、技術料が2,540円(▲0.4%)、薬剤料が6,785円(▲0.6%)で、特定保険医療材料料が18円(▲4.6%)であった。

構成割合は技術料が27.2%、薬剤料が72.6%、特定保険医療材料料が0.2%であった。

表2-1 調剤医療費の内訳(総額)

	実数(億円)						対前年度比(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調剤医療費	74,279	77,025	74,987	77,059	78,332	82,678	3.7	▲2.6	2.8	1.7	5.5
技術料	19,311	19,771	18,779	20,103	21,264	22,474	2.4	▲5.0	7.1	5.8	5.7
調剤技術料	15,294	15,773	15,046	16,136	10,772	11,554	3.1	▲4.6	7.2	-	7.3
調剤基本料	5,336	5,666	5,536	6,202	6,553	7,024	6.2	▲2.3	12.0	-	7.2
薬剤調製料	8,548	8,649	8,101	8,456	3,656	3,919	1.2	▲6.3	4.4	-	7.2
加算料	1,411	1,458	1,409	1,478	562	610	3.3	▲3.3	4.9	-	8.6
薬学管理料	4,016	3,998	3,733	3,967	10,492	10,921	▲0.5	▲6.6	6.3	-	4.1
薬剤料	54,834	57,114	56,058	56,800	56,908	60,041	4.2	▲1.8	1.3	0.2	5.5
内服薬	44,346	46,021	44,878	45,267	44,988	47,245	3.8	▲2.5	0.9	▲0.6	5.0
屯服薬他	344	344	326	327	330	339	0.2	▲5.4	0.4	1.0	2.6
注射薬	3,052	3,551	3,964	4,488	4,925	5,586	16.3	11.6	13.2	9.7	13.4
外用薬	7,092	7,198	6,891	6,717	6,665	6,872	1.5	▲4.3	▲2.5	▲0.8	3.1
(再掲)後発医薬品	10,245	10,959	11,337	11,391	11,256	11,611	7.0	3.4	0.5	▲1.2	3.2
特定保険医療材料料	134	140	150	156	161	162	4.4	7.2	3.9	2.8	1.2

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、連携強化加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2) 令和3年度以前の「薬剤調製料」は「調剤料」を、「加算料」は「調剤料」の加算料をそれぞれ集計したものである。

注3) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記載された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注4) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記載された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注5) 令和4年度診療報酬改定において調剤技術料の一部について薬学管理料への再編が行われたため、令和3年以前との単純な比較はできない。また、令和4年度の技術料内訳の伸び率は表示していない。

表2-2 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調剤医療費	8,850	9,184	9,849	9,648	9,392	9,343	3.8	7.2	▲2.0	▲2.7	▲0.5
技術料	2,301	2,357	2,467	2,517	2,550	2,540	2.5	4.6	2.0	1.3	▲0.4
構成割合(%)	26.0	25.7	25.0	26.1	27.1	27.2	-	-	-	-	-
調剤技術料	1,822	1,881	1,976	2,020	1,292	1,306	3.2	5.1	2.2	-	1.1
調剤基本料	636	676	727	777	786	794	6.3	7.6	6.8	-	1.0
薬剤調製料	1,018	1,031	1,064	1,059	438	443	1.3	3.2	▲0.5	-	1.0
加算料	168	174	185	185	67	69	3.4	6.5	▲0.0	-	2.3
薬学管理料	479	477	490	497	1,258	1,234	▲0.4	2.8	1.3	-	▲1.9
薬剤料	6,533	6,810	7,363	7,112	6,823	6,785	4.2	8.1	▲3.4	▲4.1	▲0.6
構成割合(%)	73.8	74.1	74.8	73.7	72.6	72.6	-	-	-	-	-
内服薬	5,284	5,487	5,894	5,668	5,394	5,339	3.9	7.4	▲3.8	▲4.8	▲1.0
屯服薬他	41	41	43	41	40	38	0.3	4.2	▲4.3	▲3.3	▲3.3
注射薬	364	423	521	562	590	631	16.4	23.0	7.9	5.1	6.9
外用薬	845	858	905	841	799	777	1.6	5.5	▲7.1	▲5.0	▲2.8
(再掲)後発医薬品	1,221	1,307	1,489	1,426	1,350	1,312	7.0	14.0	▲4.2	▲5.4	▲2.8
特定保険医療材料料	16	17	20	20	19	18	4.4	18.1	▲1.0	▲1.6	▲4.6
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	-	-	-	-	-

注1) 令和3年度以前の「薬剤調製料」は「調剤料」を、「加算料」は「調剤料」の加算料をそれぞれ集計したものである。

注2) 令和4年度診療報酬改定において調剤技術料の一部について薬学管理料への再編が行われたため、令和3年以前との単純な比較はできない。また、令和4年度の技術料内訳の伸び率は表示していない。

3. 年齢階級別の状況

処方箋1枚当たり調剤医療費を年齢階級別にみると、年齢とともに高くなり、最も高い80歳以上85歳未満では10,964円と、0歳以上5歳未満の3,470円の約3.2倍となっていた。

表3 年齢階級別処方箋1枚当たり調剤医療費

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総数	8,850	9,184	9,849	9,648	9,392	9,343	3.8	7.2	▲ 2.0	▲ 2.7	▲ 0.5
0歳以上5歳未満	3,197	3,281	3,623	3,503	3,414	3,470	2.6	10.5	▲ 3.3	▲ 2.5	1.6
5歳以上10歳未満	4,571	4,752	5,547	5,400	5,135	4,848	4.0	16.7	▲ 2.7	▲ 4.9	▲ 5.6
10歳以上15歳未満	6,040	6,393	7,484	7,379	7,173	6,906	5.8	17.1	▲ 1.4	▲ 2.8	▲ 3.7
15歳以上20歳未満	6,326	6,665	7,505	7,585	7,413	7,594	5.4	12.6	1.1	▲ 2.3	2.4
20歳以上25歳未満	6,176	6,534	7,336	7,379	7,269	7,372	5.8	12.3	0.6	▲ 1.5	1.4
25歳以上30歳未満	6,435	6,710	7,496	7,489	7,335	7,432	4.3	11.7	▲ 0.1	▲ 2.1	1.3
30歳以上35歳未満	6,749	7,054	7,878	7,775	7,551	7,577	4.5	11.7	▲ 1.3	▲ 2.9	0.3
35歳以上40歳未満	7,360	7,681	8,535	8,456	8,214	8,199	4.4	11.1	▲ 0.9	▲ 2.9	▲ 0.2
40歳以上45歳未満	8,222	8,511	9,288	9,198	8,971	9,024	3.5	9.1	▲ 1.0	▲ 2.5	0.6
45歳以上50歳未満	8,881	9,211	9,888	9,798	9,636	9,760	3.7	7.3	▲ 0.9	▲ 1.6	1.3
50歳以上55歳未満	9,162	9,476	10,109	10,054	9,933	10,097	3.4	6.7	▲ 0.5	▲ 1.2	1.7
55歳以上60歳未満	9,479	9,763	10,308	10,193	10,064	10,201	3.0	5.6	▲ 1.1	▲ 1.3	1.4
60歳以上65歳未満	9,706	10,022	10,505	10,343	10,205	10,301	3.3	4.8	▲ 1.5	▲ 1.3	0.9
65歳以上70歳未満	9,988	10,311	10,733	10,565	10,420	10,501	3.2	4.1	▲ 1.6	▲ 1.4	0.8
70歳以上75歳未満	10,289	10,623	11,024	10,896	10,692	10,772	3.2	3.8	▲ 1.2	▲ 1.9	0.7
75歳以上80歳未満	10,638	10,955	11,312	11,163	10,854	10,945	3.0	3.3	▲ 1.3	▲ 2.8	0.8
80歳以上85歳未満	10,919	11,211	11,448	11,262	10,922	10,964	2.7	2.1	▲ 1.6	▲ 3.0	0.4
85歳以上90歳未満	10,890	11,179	11,262	11,048	10,771	10,774	2.7	0.7	▲ 1.9	▲ 2.5	0.0
90歳以上95歳未満	10,191	10,483	10,459	10,242	10,114	10,116	2.9	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 1.2	0.0
95歳以上100歳未満	8,738	9,060	9,051	8,988	9,022	9,056	3.7	▲ 0.1	▲ 0.7	0.4	0.4
100歳以上	7,014	7,295	7,332	7,386	7,566	7,689	4.0	0.5	0.7	2.4	1.6

4. 後発医薬品割合の推移及び後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

令和5年度末において、後発医薬品割合は、数量ベース(新指標)で85.3%(対前年同期差(伸び幅という。以下同じ) +1.5%)、数量ベース(旧指標)で60.2%(+0.3%)、薬剤料ベースで19.7%(▲1.0%)であり、後発医薬品調剤率は81.3%(+1.0%)であった。

年度毎の平均でみると、令和5年度の後発医薬品割合は、数量ベースのうち新指標では84.8%(+1.6%)、旧指標では60.1%(+1.1%)、薬剤料ベースでは19.3%(▲0.4%)であり、後発医薬品調剤率は80.9%(+1.4%)であった。

後発医薬品割合の階級別に保険薬局数の構成割合をみると、数量ベース(新指標)で後発医薬品割合が80%以上の薬局数は令和4年度3月で78.4%であったところ、令和5年度3月では82.4%(+3.9%)となっており、うち90%以上の薬局数は令和4年度3月で26.6%であったところ、令和5年度3月では34.1%(+7.5%)となっていた。

表4-1 令和5年度における後発医薬品割合

(単位:%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度											
	3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
数量ベース(新指標)	82.1	83.7	84.3	84.5	84.5	84.4	84.6	84.6	84.7	85.0	85.2	85.4	85.3	85.3
数量ベース(旧指標)	59.1	60.0	59.8	59.7	59.6	59.8	60.0	60.1	60.3	60.3	60.2	60.3	60.4	60.2
薬剤料ベース	20.2	20.8	19.7	19.5	19.2	19.0	18.3	18.7	19.8	19.7	19.6	19.2	19.6	19.7
後発医薬品調剤率	78.8	80.3	80.2	80.2	80.0	80.3	80.5	80.6	81.0	81.3	81.5	81.7	81.7	81.3

表4-2 年度毎にみた後発医薬品割合

(単位:%)

	実数							対前年度差						
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
数量ベース(新指標)	70.2	75.9	79.1	81.4	82.0	83.2	84.8	5.6	3.2	2.3	0.6	1.2	1.6	
数量ベース(旧指標)	47.7	52.6	55.0	57.6	59.1	58.9	60.1	4.8	2.4	2.6	1.5	▲0.2	1.1	
薬剤料ベース	17.6	18.7	19.2	20.2	20.1	19.8	19.3	1.1	0.5	1.0	▲0.2	▲0.3	▲0.4	
後発医薬品調剤率	69.4	73.0	75.2	76.7	78.2	79.5	80.9	3.6	2.2	1.5	1.5	1.3	1.4	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 「新指標」は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。その際、新たに後発医薬品が販売される先発医薬品は、平成26年度より、薬価収載の翌月以降、医療課長通知*に基づき算出式の分母に算入することとしている。

そのため、算出式の分母となる医薬品数量が一時に増え、新指標による後発医薬品割合が低くなることもある。

*厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報(について)」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」を参照。

注3) 「後発医薬品調剤率」とは、全処方箋受付回数に対する後発医薬品を調剤した処方箋受付回数の割合をいう。

注4) 旧指標とは、平成24年度までの後発医薬品割合(数量ベース)の算出方法をいう。

注5) 旧指標による算出では、経腸成分栄養剤、特殊ミルク製剤、生薬及び漢方製剤を除外している。

表4-3 後発医薬品割合(数量ベース)階級別保険薬局数構成割合

(単位:%)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度											
	3月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
割合	10%未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1
	10%以上 20%未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	20%以上 30%未満	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	30%以上 40%未満	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	40%以上 50%未満	1.4	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	50%以上 60%未満	1.6	1.2	1.0	1.0	0.9	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.7
	55%以上 60%未満	2.2	2.0	1.8	1.7	1.8	1.8	1.7	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4
	60%以上 65%未満	3.2	2.7	2.6	2.5	2.4	2.5	2.4	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1
	65%以上 70%未満	3.9	3.5	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.1	3.0	3.0	2.9	2.9
	70%以上 75%未満	4.5	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1
	75%以上 80%未満	8.8	6.3	5.7	5.7	5.6	5.6	5.5	5.6	5.4	5.3	5.2	5.2	5.3
	80%以上 85%未満	22.5	19.1	17.6	17.1	17.3	17.7	17.5	17.2	16.9	16.3	15.9	15.3	15.5
	85%以上 90%未満	33.3	32.6	32.7	33.0	32.7	32.8	32.7	32.8	33.0	32.8	32.6	32.5	32.7
	90%以上 95%未満	15.8	23.5	25.7	26.0	26.1	26.0	26.6	26.9	27.2	28.2	29.2	29.8	29.5
95%以上	1.9	3.1	4.0	4.2	4.2	3.8	4.1	4.0	4.1	4.4	4.5	4.8	4.6	
合	50%未満	2.3	1.7	1.5	1.5	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.2	1.2	
	80%以上	73.5	78.4	79.9	80.2	80.3	80.3	80.8	81.0	81.3	81.7	82.2	82.5	
	80%以上 85%未満	22.5	19.1	17.6	17.1	17.3	17.7	17.5	17.2	16.9	16.3	15.9	15.3	
	85%以上 90%未満	33.3	32.6	32.7	33.0	32.7	32.8	32.7	32.8	33.0	32.8	32.6	32.5	
	90%以上	17.7	26.6	29.6	30.1	30.2	29.8	30.6	31.0	31.4	32.6	33.7	34.6	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

5. 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料5,334円を、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料に分解すると、各々2.79、27.0日、71円となっていた。

また、内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料の伸び率▲1.0%を、処方箋1枚当たり薬剤種類数の伸び率、1種類当たり投薬日数の伸び率、1種類1日当たり薬剤料の伸び率に分解すると、各々1.0%、▲3.4%、1.4%となっていた。

表5 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

	実数						対前年度比(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料(円)	5,273	5,478	5,886	5,666	5,389	5,334	3.9	7.4	▲3.7	▲4.9	▲1.0
処方箋1枚当たり薬剤種類数	2.80	2.79	2.76	2.76	2.76	2.79	▲0.3	▲1.0	▲0.1	0.0	1.0
1種類当たり投薬日数(日)	24.1	25.0	28.2	28.1	27.9	27.0	3.6	12.7	▲0.5	▲0.4	▲3.4
1種類1日当たり薬剤料(円)	78	79	76	73	70	71	0.5	▲3.7	▲3.2	▲4.5	1.4

注1) 「薬剤料」とは、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料をいう。

注2) 「処方箋1枚当たり薬剤種類数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごとに、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤を同一種類として数えた延種類数(薬剤延種類数)の合計値(内服薬のみ)を、処方箋受付回数(内服薬が含まれない処方箋受付回も含む。)で除して算出している。

注3) 「1種類当たり投薬日数」については、調剤報酬明細書の「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)を、薬剤延種類数の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

注4) 「1種類1日当たり薬剤料」については、調剤報酬明細書の「処方」欄に記録された用量、「調剤数量」欄に記録された調剤数量及び薬価から、個別の薬剤ごとに算出した薬剤料の合計値(内服薬のみ)を、「処方」欄の所定単位ごと、調剤月日ごと、剤形・薬効分類・一般名の一致する薬剤ごとの調剤数量の合計値(内服薬のみ)で除して算出している。

6-1. 薬効分類別の状況(1)(内服薬薬剤料総額)

内服薬の薬剤料(総額)を薬効大分類別にみると、その他の代謝性医薬品が8,746億円と最も高く、次いで循環器官用薬が6,806億円となっている。伸び率は、化学療法剤が+83.2%と最も高く、ビタミン剤が▲5.2%と最も低い。

後発医薬品については、循環器官用薬が2,984億円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が1,709億円となっている。伸び率は、抗生物質製剤が+19.7%と最も高く、泌尿生殖器官および肛門用薬が▲8.5%と最も低い。

表6-1 内服薬 薬効分類別 薬剤料

	総額(億円)						対前年度比(%)			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	後発医薬品(億円)(再掲)			後発医薬品(再掲)			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
内服薬 総数	45,251	44,947	47,199	9,726	9,547	9,865	▲0.7	5.0	▲1.8	3.3
11 中枢神経系用薬	6,978	6,511	6,448	1,701	1,723	1,709	▲6.7	▲1.0	1.3	▲0.8
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	407	352	320	174	176	172	▲13.5	▲9.1	1.3	▲2.1
114 解熱鎮痛消炎剤	633	592	574	293	291	290	▲6.4	▲3.1	▲0.8	▲0.2
116 抗パーキンソン剤	679	672	668	63	58	52	▲1.0	▲0.6	▲7.9	▲11.4
117 精神神経用剤	2,396	2,207	2,133	462	503	550	▲7.9	▲3.3	8.9	9.4
119 その他中枢神経系用薬	1,943	1,937	1,995	605	528	470	▲0.3	3.0	▲12.8	▲11.0
21 循環器官用薬	7,574	7,166	6,806	2,871	2,843	2,984	▲5.4	▲5.0	▲1.0	5.0
212 不整脈用剤	280	261	248	149	152	154	▲6.9	▲5.0	2.0	1.4
214 血圧降下剤	2,707	2,411	1,895	1,096	1,002	1,037	▲10.9	▲21.4	▲8.6	3.5
217 血管拡張剤	715	633	596	523	489	480	▲11.5	▲5.8	▲6.5	▲1.9
218 高脂血症用剤	1,904	1,650	1,539	842	869	866	▲13.3	▲6.7	3.2	▲0.3
22 呼吸器官用薬	280	319	376	172	195	224	13.9	18.0	13.8	14.6
23 消化器官用薬	4,344	4,144	3,936	1,198	1,023	1,170	▲4.6	▲5.0	▲14.7	14.4
232 消化性潰瘍用剤	2,603	2,364	2,094	690	511	656	▲9.2	▲11.4	▲25.9	28.4
239 その他の消化器官用薬	660	650	650	130	127	122	▲1.4	▲0.1	▲1.7	▲4.4
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	872	1,036	1,211	218	241	261	18.8	16.9	10.6	8.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	1,101	1,040	1,048	254	243	222	▲5.6	0.8	▲4.7	▲8.5
31 ビタミン剤	701	586	555	352	359	346	▲16.4	▲5.2	2.0	▲3.7
32 滋養強壮薬	580	598	662	43	42	39	3.0	10.7	▲1.3	▲8.1
325 蛋白アミノ酸製剤	485	501	565	13	13	11	3.4	12.6	▲1.7	▲15.6
33 血液・体液用薬	3,436	3,459	3,515	653	607	578	0.7	1.6	▲7.0	▲4.8
39 その他の代謝性医薬品	8,130	8,237	8,746	817	872	901	1.3	6.2	6.8	3.3
396 糖尿病用剤	4,073	4,262	4,562	243	234	227	4.6	7.0	▲3.9	▲2.8
399 他に分類されない代謝性医薬品	3,276	3,395	3,706	483	478	483	3.6	9.2	▲1.1	1.1
42 腫瘍用薬	5,222	5,775	6,146	316	290	268	10.6	6.4	▲8.3	▲7.6
422 代謝拮抗剤	177	152	131	90	80	73	▲14.4	▲13.3	▲11.0	▲9.4
429 その他の腫瘍用薬	5,009	5,597	5,992	215	195	181	11.7	7.1	▲9.3	▲7.3
44 アレルギー用薬	1,863	1,859	1,891	795	788	805	▲0.2	1.7	▲0.9	2.2
52 漢方製剤	1,393	1,462	1,541	-	-	-	4.9	5.5	-	-
61 抗生物質製剤	397	399	489	112	105	125	0.5	22.4	▲6.4	19.7
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	171	177	235	34	34	43	3.7	32.4	▲0.1	25.0
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	92	82	107	52	50	61	▲10.9	31.0	▲4.0	23.3
62 化学療法剤	1,528	1,901	3,483	145	138	155	24.4	83.2	▲5.1	11.9
624 合成抗菌剤	117	116	161	38	37	41	▲1.6	39.0	▲3.1	11.6
625 抗ウイルス剤	1,158	1,525	3,036	62	60	75	31.7	99.1	▲2.1	25.0

注1) 表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注2) 「-」は0を意味する。

6-2. 薬効分類別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、その他の代謝性医薬品が988円と最も高く、次いで循環器官用薬が769円となっている。伸び率は、化学療法剤が+72.7%と最も高く、ビタミン剤が▲10.7%と最も低い。

表6-2 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内服薬 総数	5,273	5,478	5,886	5,666	5,389	5,334	3.9	7.4	▲ 3.7	▲ 4.9	▲ 1.0
11 中枢神経系用薬	941	954	985	874	781	729	1.4	3.3	▲ 11.3	▲ 10.6	▲ 6.7
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	58	56	60	51	42	36	▲ 2.8	7.1	▲ 15.7	▲ 17.2	▲ 14.3
114 解熱鎮痛消炎剤	121	113	95	79	71	65	▲ 6.6	▲ 15.7	▲ 16.6	▲ 10.4	▲ 8.6
116 抗パーキンソン剤	77	80	88	85	81	75	4.5	9.9	▲ 3.8	▲ 5.2	▲ 6.3
117 精神神経用剤	300	298	326	300	265	241	▲ 0.6	9.3	▲ 7.9	▲ 11.8	▲ 8.9
119 その他中枢神経系用薬	291	303	297	243	232	225	4.1	▲ 2.1	▲ 18.1	▲ 4.5	▲ 2.9
21 循環器官用薬	982	986	1,023	948	859	769	0.4	3.8	▲ 7.3	▲ 9.4	▲ 10.5
212 不整脈用剤	39	38	38	35	31	28	▲ 2.9	1.5	▲ 8.0	▲ 10.8	▲ 10.4
214 血圧降下剤	375	360	377	339	289	214	▲ 4.0	4.6	▲ 10.0	▲ 14.7	▲ 25.9
217 血管拡張剤	107	103	103	90	76	67	▲ 3.7	0.6	▲ 13.3	▲ 15.2	▲ 11.2
218 高脂血症用剤	264	270	269	238	198	174	2.3	▲ 0.2	▲ 11.5	▲ 17.0	▲ 12.1
22 呼吸器官用薬	48	47	35	35	38	43	▲ 2.2	▲ 24.9	▲ 1.1	9.1	11.2
23 消化器官用薬	460	491	557	544	497	445	6.6	13.4	▲ 2.3	▲ 8.7	▲ 10.5
232 消化性潰瘍用剤	298	309	342	326	283	237	3.8	10.7	▲ 4.7	▲ 13.0	▲ 16.5
239 その他の消化器官用薬	70	74	83	83	78	73	6.6	12.2	▲ 1.0	▲ 5.6	▲ 5.8
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	82	98	106	109	124	137	19.0	7.7	3.4	13.8	10.2
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	156	150	156	138	125	118	▲ 3.7	4.3	▲ 11.8	▲ 9.6	▲ 5.0
31 ビタミン剤	115	121	112	88	70	63	5.2	▲ 7.9	▲ 21.3	▲ 20.0	▲ 10.7
32 滋養強壮薬	60	63	73	73	72	75	4.7	15.7	0.2	▲ 1.4	4.3
325 蛋白アミノ酸製剤	50	52	61	61	60	64	4.5	16.0	▲ 0.1	▲ 1.0	6.2
33 血液・体液用薬	399	421	440	430	415	397	5.6	4.5	▲ 2.3	▲ 3.6	▲ 4.2
39 その他の代謝性医薬品	818	887	1,013	1,018	988	988	8.3	14.2	0.5	▲ 3.0	0.1
396 糖尿病用剤	409	442	510	510	511	516	8.1	15.4	▲ 0.1	0.2	0.9
399 他に分類されない代謝性医薬品	326	352	404	410	407	419	7.9	14.8	1.6	▲ 0.8	2.9
42 腫瘍用薬	425	508	614	654	692	695	19.5	20.9	6.4	5.9	0.3
422 代謝拮抗剤	34	29	26	22	18	15	▲ 15.2	▲ 9.6	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 18.3
429 その他の腫瘍用薬	386	475	584	627	671	677	23.0	23.0	7.5	7.0	0.9
44 アレルギー用薬	260	257	258	233	223	214	▲ 1.0	0.1	▲ 9.5	▲ 4.5	▲ 4.1
52 漢方製剤	141	149	169	174	175	174	5.5	13.6	3.2	0.5	▲ 0.6
61 抗生物質製剤	71	66	53	50	48	55	▲ 6.4	▲ 20.2	▲ 6.3	▲ 3.7	15.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	32	30	23	21	21	27	▲ 8.1	▲ 24.0	▲ 5.0	▲ 0.7	24.8
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	24	21	14	11	10	12	▲ 10.6	▲ 35.5	▲ 15.5	▲ 14.7	23.5
62 化学療法剤	275	226	208	191	228	394	▲ 18.0	▲ 8.1	▲ 7.8	19.1	72.7
624 合成抗菌剤	28	26	16	15	14	18	▲ 8.6	▲ 38.4	▲ 8.1	▲ 5.8	31.0
625 抗ウイルス剤	224	171	161	145	183	343	▲ 23.5	▲ 6.2	▲ 9.7	26.2	87.6

(注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

7. 薬効分類別の状況(3)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤種類数)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤種類数を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が0.62と最も多く、次いで中枢神経系用薬が0.44となっている。伸び率は、化学療法剤が+49.0%で最も高く、循環器官用薬が▲4.8%で最も低い。

表7 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり薬剤種類数

	実数						対前年度比(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内服薬 総数	2.80	2.79	2.76	2.76	2.76	2.79	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.1	0.0	1.0
11 中枢神経系用薬	0.45	0.45	0.47	0.47	0.46	0.44	0.1	4.9	▲ 1.1	▲ 2.0	▲ 3.4
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	0.12	0.11	0.12	0.11	0.11	0.10	▲ 3.0	7.6	▲ 5.7	▲ 6.9	▲ 8.9
114 解熱鎮痛消炎剤	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	▲ 0.7	▲ 3.8	2.2	1.3	1.5
116 抗パーキンソン剤	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	▲ 1.1	6.8	▲ 4.0	▲ 5.8	▲ 11.9
117 精神神経用剤	0.12	0.12	0.13	0.13	0.13	0.12	0.9	10.1	▲ 1.5	▲ 3.1	▲ 5.5
119 その他中枢神経系用薬	0.06	0.06	0.07	0.07	0.07	0.07	7.5	14.3	5.5	3.5	0.5
21 循環器官用薬	0.60	0.61	0.67	0.67	0.65	0.62	1.6	9.8	▲ 0.5	▲ 2.6	▲ 4.8
212 不整脈用剤	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04	0.04	4.4	12.6	1.4	▲ 0.4	▲ 2.3
214 血圧降下剤	0.20	0.20	0.22	0.21	0.20	0.19	0.4	8.3	▲ 1.9	▲ 4.7	▲ 7.3
217 血管拡張剤	0.14	0.14	0.16	0.15	0.15	0.14	1.2	9.2	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 5.8
218 高脂血症用剤	0.15	0.15	0.17	0.17	0.17	0.17	4.1	11.9	1.7	▲ 0.9	▲ 3.3
22 呼吸器官用薬	0.25	0.24	0.13	0.15	0.18	0.24	▲ 5.0	▲ 44.5	13.8	21.7	30.6
23 消化器官用薬	0.44	0.44	0.45	0.44	0.43	0.42	▲ 0.9	2.5	▲ 1.2	▲ 3.1	▲ 3.4
232 消化性潰瘍用剤	0.22	0.22	0.23	0.22	0.22	0.20	▲ 1.0	4.5	▲ 2.6	▲ 3.6	▲ 5.6
239 その他の消化器官用薬	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.03	▲ 1.4	1.8	0.2	▲ 3.6	▲ 3.0
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	0.05	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	2.9	5.5	1.7	2.8	0.6
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	0.04	0.04	0.05	0.05	0.05	0.04	4.7	9.9	0.3	▲ 1.0	▲ 2.8
31 ビタミン剤	0.10	0.10	0.11	0.10	0.10	0.09	1.2	7.9	▲ 5.2	▲ 3.0	▲ 4.2
32 滋養強壮薬	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	2.3	11.1	1.9	▲ 0.6	▲ 3.0
325 蛋白アミノ酸製剤	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	4.9	16.5	2.0	▲ 0.3	▲ 2.5
33 血液・体液用薬	0.14	0.14	0.14	0.13	0.14	0.14	0.2	▲ 4.5	▲ 1.9	1.0	5.6
39 その他の代謝性医薬品	0.22	0.23	0.25	0.25	0.24	0.24	1.9	9.6	0.3	▲ 1.8	▲ 3.8
396 糖尿病用剤	0.12	0.12	0.13	0.14	0.13	0.13	2.1	10.6	0.5	▲ 1.4	▲ 3.2
399 他に分類されない代謝性医薬品	0.05	0.05	0.06	0.06	0.06	0.05	0.1	6.3	0.4	▲ 2.1	▲ 4.3
42 腫瘍用薬	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	5.2	12.5	0.5	1.6	▲ 1.8
422 代謝拮抗剤	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.3	8.0	▲ 2.1	▲ 4.4	▲ 6.1
429 その他の腫瘍用薬	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	6.6	13.9	1.5	3.4	▲ 0.5
44 アレルギー用薬	0.21	0.20	0.19	0.19	0.20	0.21	▲ 2.3	▲ 8.3	0.4	6.5	7.6
52 漢方製剤	0.08	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	2.2	1.3	2.0	2.5	1.3
61 抗生物質製剤	0.09	0.09	0.06	0.06	0.06	0.07	▲ 4.6	▲ 29.4	▲ 3.2	▲ 2.2	24.2
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	0.04	▲ 4.2	▲ 27.6	▲ 2.3	▲ 2.5	22.6
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	▲ 6.8	▲ 39.8	▲ 5.4	▲ 0.8	35.0
62 化学療法剤	0.04	0.03	0.03	0.02	0.03	0.04	▲ 10.5	▲ 25.8	▲ 1.8	9.7	49.0
624 合成抗菌剤	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	▲ 5.2	▲ 33.8	▲ 3.4	0.7	30.5
625 抗ウイルス剤	0.01	0.01	0.00	0.00	0.01	0.02	▲ 29.9	▲ 36.6	▲ 2.5	48.8	136.7

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

8. 薬効分類別の状況(4)(内服薬1種類当たり投薬日数)

内服薬の1種類当たり投薬日数を薬効大分類別にみると、最も長いのは腫瘍用薬の42.5日であり、最も短いのは抗生物質製剤の8.0日である。伸び率は、ビタミン剤が+1.7%で最も高く、化学療法剤が▲25.0%で最も低い。

表8 内服薬薬効分類別1種類当たり投薬日数

	実数(日)						対前年度比(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内服薬 総数	24.1	25.0	28.2	28.1	27.9	27.0	3.6	12.7	▲0.5	▲0.4	▲3.4
11 中枢神経系用薬	22.6	23.1	24.6	24.7	24.9	24.7	2.2	6.6	0.4	0.7	▲0.5
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	24.1	24.5	24.9	25.1	25.3	25.6	1.3	2.0	0.6	1.0	0.9
114 解熱鎮痛消炎剤	16.7	17.2	19.7	19.7	19.6	18.9	3.4	14.2	▲0.0	▲0.3	▲3.7
116 抗パーキンソン剤	28.3	29.0	29.9	29.9	30.4	31.0	2.4	3.4	▲0.1	1.5	1.9
117 精神神経用剤	24.2	24.6	25.3	25.4	25.8	26.1	1.9	2.7	0.5	1.4	1.2
119 その他中枢神経系用薬	25.6	25.9	26.6	26.8	27.2	27.5	1.1	3.0	0.4	1.5	1.3
21 循環器官用薬	32.9	33.7	35.1	35.2	35.7	36.2	2.4	4.2	0.3	1.4	1.5
212 不整脈用剤	33.5	34.2	35.5	35.4	35.9	36.3	2.1	3.9	▲0.2	1.2	1.2
214 血圧降下剤	34.0	34.7	36.3	36.4	36.9	37.4	2.3	4.3	0.3	1.4	1.5
217 血管拡張剤	32.9	33.7	35.1	35.3	35.7	36.3	2.3	4.3	0.4	1.4	1.5
218 高脂血症用剤	34.9	35.8	37.4	37.5	38.1	38.6	2.4	4.5	0.4	1.5	1.5
22 呼吸器官用薬	8.7	9.1	12.7	11.6	10.7	9.2	4.5	39.6	▲8.1	▲8.5	▲13.3
23 消化器官用薬	24.1	24.9	27.2	27.1	27.2	26.9	3.2	9.1	▲0.4	0.7	▲1.2
232 消化性潰瘍用剤	25.9	26.7	28.4	28.5	28.7	28.7	2.8	6.6	0.2	0.8	0.0
239 その他の消化器官用薬	22.6	23.6	26.1	25.9	26.1	25.9	4.2	10.7	▲0.7	0.8	▲0.9
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	28.0	29.2	32.1	32.3	32.8	33.0	4.1	10.2	0.5	1.5	0.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	33.8	34.1	35.8	36.0	36.5	37.1	1.0	4.9	0.5	1.6	1.6
31 ビタミン剤	28.5	29.3	30.6	30.8	31.4	32.0	2.7	4.5	0.6	2.1	1.7
32 滋養強壯薬	26.7	27.0	27.6	27.7	27.9	28.0	1.4	2.2	0.1	0.7	0.6
325 蛋白アミノ酸製剤	20.4	20.5	20.7	20.4	20.4	20.4	0.6	0.9	▲1.3	▲0.2	▲0.0
33 血液・体液用薬	27.3	27.7	31.5	30.9	29.7	27.1	1.5	13.6	▲1.6	▲4.0	▲8.9
39 その他の代謝性医薬品	30.0	30.8	32.3	32.4	33.0	33.6	2.9	4.7	0.4	1.8	1.7
396 糖尿病用剤	34.3	35.1	36.6	36.6	37.1	37.5	2.4	4.2	0.0	1.3	1.3
399 他に分類されない代謝性医薬品	16.3	17.0	18.0	18.3	19.1	19.7	4.2	5.8	2.0	4.3	3.3
42 腫瘍用薬	41.4	42.0	43.4	43.0	42.5	42.5	1.2	3.4	▲0.9	▲1.1	▲0.1
422 代謝拮抗剤	20.4	20.4	21.0	20.9	21.1	21.4	0.2	2.8	▲0.7	0.9	1.3
429 その他の腫瘍用薬	48.5	48.8	50.1	49.4	48.2	47.7	0.6	2.7	▲1.5	▲2.4	▲1.0
44 アレルギー用薬	18.5	19.7	24.0	23.7	23.8	22.5	6.4	22.0	▲1.1	0.2	▲5.5
52 漢方製剤	21.4	22.0	24.9	25.2	25.0	23.8	3.2	13.2	1.2	▲1.1	▲4.5
61 抗生物質製剤	6.9	7.2	8.6	8.6	8.6	8.0	3.7	19.1	0.1	0.4	▲6.7
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	4.9	5.0	5.1	5.1	5.2	5.2	1.6	1.5	0.3	1.7	1.2
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	8.9	9.4	12.9	13.0	12.8	11.0	5.1	37.6	0.6	▲1.1	▲14.2
62 化学療法剤	10.3	11.7	15.4	15.6	14.6	10.9	13.6	32.2	0.9	▲6.4	▲25.0
624 合成抗菌剤	5.5	5.6	6.0	6.0	6.1	6.0	1.5	6.6	0.5	1.5	▲2.0
625 抗ウイルス剤	8.8	12.3	19.3	19.6	14.4	7.8	39.8	56.2	1.5	▲26.2	▲45.8

注)表示していない項目(薬効)がある。

9. 薬効分類別の状況(5)(内服薬1種類1日当たり薬剤料)

内服薬の1種類1日当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、最も高いのは腫瘍用薬の2,272円であり、最も低いのは呼吸器官用薬の19円であった。

伸び率は、化学療法剤が+54.6%で最も高く、ビタミン剤が▲8.4%で最も低い。

表9 内服薬薬効分類別1種類1日当たり薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内服薬 総数	78	79	76	73	70	71	0.5	▲3.7	▲3.2	▲4.5	1.4
11 中枢神経系用薬	93	92	85	76	69	67	▲0.9	▲7.7	▲10.6	▲9.5	▲2.9
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	21	21	20	18	16	15	▲1.2	▲2.5	▲11.1	▲12.0	▲6.7
114 解熱鎮痛消炎剤	70	64	49	40	36	33	▲9.0	▲23.2	▲18.4	▲11.3	▲6.5
116 抗パーキンソン剤	177	183	182	182	181	188	3.3	▲0.4	0.2	▲0.8	4.2
117 精神神経用剤	105	101	98	91	82	78	▲3.3	▲3.4	▲7.0	▲10.2	▲4.8
119 その他中枢神経系用薬	205	197	164	127	115	110	▲4.2	▲16.9	▲22.7	▲9.1	▲4.7
21 循環器官用薬	49	48	43	40	37	34	▲3.5	▲9.3	▲7.1	▲8.3	▲7.3
212 不整脈用剤	35	32	28	25	22	20	▲8.9	▲13.3	▲9.2	▲11.5	▲9.3
214 血圧降下剤	55	51	48	44	38	30	▲6.6	▲7.5	▲8.5	▲11.7	▲21.2
217 血管拡張剤	23	21	19	16	14	13	▲7.0	▲11.7	▲12.5	▲13.5	▲7.1
218 高脂血症用剤	52	50	42	37	30	27	▲4.0	▲14.7	▲13.3	▲17.4	▲10.5
22 呼吸器官用薬	22	22	21	20	20	19	▲1.5	▲3.1	▲5.3	▲2.0	▲1.8
23 消化器官用薬	43	45	46	45	42	40	4.2	1.4	▲0.7	▲6.4	▲6.2
232 消化性潰瘍用剤	51	52	52	51	46	40	2.0	▲0.7	▲2.4	▲10.5	▲11.6
239 その他の消化器官用薬	85	88	87	87	84	83	3.8	▲0.5	▲0.6	▲2.8	▲2.0
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	58	65	60	61	66	72	11.1	▲7.4	1.2	9.1	8.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	116	105	95	84	75	72	▲9.0	▲9.5	▲12.4	▲10.1	▲3.7
31 ビタミン剤	41	42	34	28	23	21	1.3	▲18.3	▲17.5	▲19.2	▲8.4
32 滋養強壮薬	84	84	86	84	83	89	0.9	1.8	▲1.7	▲1.5	6.9
325 蛋白アミノ酸製剤	417	413	408	404	402	438	▲1.0	▲1.3	▲0.8	▲0.5	9.0
33 血液・体液用薬	102	106	102	104	103	102	3.8	▲3.7	1.2	▲0.7	▲0.4
39 その他の代謝性医薬品	123	127	126	126	122	125	3.4	▲0.5	▲0.2	▲2.9	2.3
396 糖尿病用剤	100	103	104	103	103	106	3.3	0.1	▲0.6	0.3	2.9
399 他に分類されない代謝性医薬品	380	393	401	398	387	403	3.5	2.0	▲0.8	▲2.8	4.1
42 腫瘍用薬	1,689	1,897	1,973	2,109	2,223	2,272	12.3	4.0	6.9	5.4	2.2
422 代謝拮抗剤	1,215	1,015	827	714	607	521	▲16.5	▲18.5	▲13.7	▲15.0	▲14.1
429 その他の腫瘍用薬	1,745	2,001	2,103	2,262	2,396	2,453	14.7	5.1	7.5	6.0	2.4
44 アレルギー用薬	68	64	58	53	47	44	▲4.8	▲10.5	▲8.8	▲10.5	▲5.7
52 漢方製剤	79	79	78	78	77	80	0.0	▲0.9	▲0.1	▲0.8	2.7
61 抗生物質製剤	113	107	102	98	96	96	▲5.3	▲5.0	▲3.2	▲1.9	▲0.4
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	123	116	120	117	117	117	▲5.6	3.4	▲3.0	0.2	0.5
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	81	74	58	51	45	47	▲8.8	▲22.1	▲11.2	▲13.0	6.6
62 化学療法剤	705	569	532	496	575	889	▲19.3	▲6.4	▲6.9	16.0	54.6
624 合成抗菌剤	254	242	211	200	184	189	▲4.9	▲12.7	▲5.3	▲7.8	2.5
625 抗ウイルス剤	2,299	1,794	1,701	1,552	1,784	2,609	▲22.0	▲5.2	▲8.7	14.9	46.2

注)表示していない項目(薬効)がある。

10-1. 薬効分類別の状況(6)(内服薬 後発医薬品処方箋1枚当たり薬剤料)

後発医薬品の内服薬について、処方箋1枚当たり薬剤料を薬効大分類別にみると、循環器官用薬が337円と最も高く、次いで中枢神経系用薬が193円となっている。伸び率は、抗生物質製剤が+12.9%で最も高く、泌尿生殖器官および肛門用薬が▲13.7%で最も低い。

表10-1 内服薬 薬効分類別処方箋1枚当たり後発医薬品薬剤料

	実数(円)						対前年度比(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内服薬 総数	1,079	1,142	1,288	1,218	1,145	1,115	5.9	12.7	▲5.4	▲6.0	▲2.6
11 中枢神経系用薬	121	145	194	213	207	193	20.1	33.7	9.7	▲3.0	▲6.5
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	18	19	21	22	21	19	2.5	9.7	5.2	▲3.0	▲7.7
114 解熱鎮痛消炎剤	18	24	36	37	35	33	38.8	48.1	1.7	▲5.0	▲6.0
116 抗パーキンソン剤	7	8	9	8	7	6	14.3	14.0	▲10.8	▲11.8	▲16.5
117 精神神経用剤	37	51	56	58	60	62	35.4	10.6	2.9	4.3	3.1
119 その他中枢神経系用薬	31	32	59	76	63	53	2.1	85.4	27.7	▲16.5	▲16.1
21 循環器官用薬	343	353	390	359	341	337	3.0	10.4	▲7.9	▲5.2	▲1.1
212 不整脈用剤	16	17	20	19	18	17	9.0	13.9	▲5.9	▲2.3	▲4.4
214 血圧降下剤	137	141	146	137	120	117	2.3	3.9	▲6.0	▲12.5	▲2.5
217 血管拡張剤	69	70	74	66	59	54	1.4	5.1	▲11.5	▲10.4	▲7.5
218 高脂血症用剤	96	97	116	105	104	98	1.4	18.7	▲8.9	▲1.2	▲6.0
22 呼吸器官用薬	24	26	21	21	23	25	5.6	▲17.1	0.9	9.0	8.0
23 消化器官用薬	152	153	165	150	123	132	1.0	7.9	▲9.3	▲18.3	7.8
232 消化性潰瘍用剤	97	95	98	86	61	74	▲1.3	3.3	▲12.1	▲29.1	21.0
239 その他の消化器官用薬	15	16	19	16	15	14	6.3	18.6	▲12.9	▲5.8	▲9.9
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	13	17	27	27	29	30	26.9	59.7	2.4	5.9	2.0
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	15	24	31	32	29	25	64.8	28.9	2.8	▲8.7	▲13.7
31 ビタミン剤	30	29	45	44	43	39	▲1.4	51.3	▲1.0	▲2.3	▲9.3
32 滋養強壮薬	5	5	6	5	5	4	6.0	7.6	▲5.1	▲5.5	▲13.4
325 蛋白アミノ酸製剤	2	2	2	2	2	1	4.1	5.4	▲27.5	▲5.8	▲20.4
33 血液・体液用薬	89	89	91	82	73	65	0.4	1.6	▲10.0	▲11.0	▲10.3
39 その他の代謝性医薬品	92	97	110	102	105	102	5.4	13.3	▲6.6	2.2	▲2.7
396 糖尿病用剤	28	28	32	30	28	26	0.5	13.8	▲6.1	▲8.0	▲8.3
399 他に分類されない代謝性医薬品	51	56	65	61	57	55	10.5	15.3	▲7.2	▲5.3	▲4.7
42 腫瘍用薬	40	45	48	40	35	30	13.9	5.7	▲17.0	▲12.2	▲12.9
422 代謝拮抗剤	8	12	13	11	10	8	39.8	11.7	▲12.8	▲14.8	▲14.6
429 その他の腫瘍用薬	30	31	32	27	23	20	5.4	2.5	▲16.5	▲13.2	▲12.6
44 アレルギー用薬	98	100	113	100	94	91	1.6	13.5	▲12.1	▲5.1	▲3.6
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	25	25	16	14	13	14	0.0	▲35.1	▲12.3	▲10.4	12.9
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	10	10	5	4	4	5	0.2	▲55.8	▲5.1	▲4.4	17.8
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	12	11	8	6	6	7	▲3.8	▲31.6	▲15.4	▲8.1	16.2
62 化学療法剤	25	25	22	18	17	17	0.5	▲14.1	▲15.6	▲9.1	5.5
624 合成抗菌剤	8	8	5	5	4	5	▲3.2	▲29.0	▲12.4	▲7.2	5.2
625 抗ウイルス剤	11	11	10	8	7	9	2.3	▲15.0	▲18.9	▲6.2	17.8

注)表示していない項目(薬効)があるので、内訳を足し上げても総数と一致しない。

10-2. 薬効分類別の状況(7)(内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース))

内服薬の薬剤料ベースでみた後発医薬品割合を薬効大分類別にみると、ビタミン剤の62.3%が最も高く、次いで呼吸器官用薬の59.5%となっている。対前年度差は、消化器官用薬が+5.0%で最も高く、化学療法剤が▲2.8%で最も低い。

表10-2 内服薬後発医薬品割合(薬剤料ベース)

	実数(%)						対前年度差(%)				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
内服薬 総数	20.5	20.8	21.9	21.5	21.2	20.9	0.3	1.1	▲0.4	▲0.3	▲0.3
11 中枢神経系用薬	12.9	15.2	19.7	24.4	26.5	26.5	2.4	4.5	4.7	2.1	0.0
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	31.7	33.4	34.2	42.7	50.0	53.9	1.7	0.8	8.5	7.3	3.9
114 解熱鎮痛消炎剤	14.6	21.7	38.0	46.4	49.2	50.6	7.1	16.4	8.4	2.8	1.4
116 抗パーキンソン剤	8.9	9.7	10.1	9.3	8.7	7.8	0.8	0.4	▲0.7	▲0.7	▲0.9
117 精神神経用剤	12.5	17.0	17.2	19.3	22.8	25.8	4.5	0.2	2.0	3.5	3.0
119 その他中枢神経系用薬	10.8	10.6	20.0	31.2	27.2	23.6	▲0.2	9.4	11.2	▲3.9	▲3.7
21 循環器官用薬	35.0	35.9	38.2	37.9	39.7	43.8	0.9	2.3	▲0.2	1.8	4.2
212 不整脈用剤	41.3	46.3	52.0	53.2	58.3	62.2	5.1	5.7	1.2	5.1	3.9
214 血圧降下剤	36.6	39.0	38.8	40.5	41.6	54.7	2.4	▲0.3	1.7	1.1	13.2
217 血管拡張剤	65.1	68.6	71.7	73.2	77.3	80.5	3.5	3.1	1.5	4.1	3.2
218 高脂血症用剤	36.5	36.1	43.0	44.2	52.6	56.3	▲0.3	6.9	1.2	8.4	3.6
22 呼吸器官用薬	50.4	54.4	60.1	61.3	61.3	59.5	4.0	5.7	1.2	▲0.0	▲1.8
23 消化器官用薬	33.0	31.2	29.7	27.6	24.7	29.7	▲1.7	▲1.5	▲2.1	▲2.9	5.0
232 消化性潰瘍用剤	32.4	30.8	28.8	26.5	21.6	31.4	▲1.6	▲2.1	▲2.2	▲4.9	9.7
239 その他の消化器官用薬	21.2	21.1	22.3	19.6	19.6	18.7	▲0.1	1.2	▲2.7	▲0.1	▲0.9
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	16.0	17.1	25.3	25.0	23.3	21.6	1.1	8.2	▲0.2	▲1.7	▲1.7
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	9.4	16.1	19.8	23.1	23.3	21.2	6.7	3.8	3.3	0.2	▲2.1
31 ビタミン剤	25.9	24.3	39.9	50.3	61.4	62.3	▲1.6	15.6	10.3	11.1	1.0
32 滋養強壮薬	8.3	8.4	7.8	7.4	7.1	5.9	0.1	▲0.6	▲0.4	▲0.3	▲1.2
325 蛋白アミノ酸製剤	4.0	4.0	3.6	2.6	2.5	1.9	▲0.0	▲0.4	▲1.0	▲0.1	▲0.6
33 血液・体液用薬	22.3	21.2	20.6	19.0	17.5	16.4	▲1.1	▲0.6	▲1.6	▲1.5	▲1.1
39 その他の代謝性医薬品	11.2	10.9	10.8	10.0	10.6	10.3	▲0.3	▲0.1	▲0.8	0.5	▲0.3
396 糖尿病用剤	6.9	6.4	6.3	6.0	5.5	5.0	▲0.5	▲0.1	▲0.4	▲0.5	▲0.5
399 他に分類されない代謝性医薬品	15.7	16.1	16.1	14.8	14.1	13.0	0.4	0.1	▲1.4	▲0.7	▲1.0
42 腫瘍用薬	9.3	8.9	7.8	6.1	5.0	4.4	▲0.4	▲1.1	▲1.7	▲1.0	▲0.7
422 代謝拮抗剤	24.1	39.7	49.0	50.9	52.9	55.3	15.6	9.3	1.9	2.0	2.4
429 その他の腫瘍用薬	7.7	6.6	5.5	4.3	3.5	3.0	▲1.1	▲1.1	▲1.2	▲0.8	▲0.5
44 アレルギー用薬	37.8	38.8	44.0	42.7	42.4	42.6	1.0	5.2	▲1.3	▲0.3	0.2
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
61 抗生物質製剤	34.6	37.0	30.0	28.1	26.2	25.6	2.4	▲6.9	▲1.9	▲1.9	▲0.6
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	31.8	34.7	20.2	20.2	19.4	18.3	2.9	▲14.5	▲0.0	▲0.7	▲1.1
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	49.3	53.1	56.3	56.4	60.7	57.2	3.8	3.3	0.0	4.4	▲3.6
62 化学療法剤	9.1	11.1	10.4	9.5	7.3	4.4	2.0	▲0.7	▲0.9	▲2.3	▲2.8
624 合成抗菌剤	27.7	29.3	33.8	32.2	31.7	25.5	1.6	4.5	▲1.6	▲0.5	▲6.3
625 抗ウイルス剤	4.9	6.5	5.9	5.3	4.0	2.5	1.7	▲0.6	▲0.6	▲1.4	▲1.5

注)表示していない項目(薬効)がある。

11. 都道府県別の状況(1)(調剤医療費の内訳)

調剤医療費の内訳を都道府県別にみると、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も高い高知県では、技術料の割合が24.4%、薬剤料の割合が75.5%となっていた。一方、最も低い佐賀県では技術料の割合が32.3%、薬剤料の割合が67.4%となっていた。

薬剤料全体の伸び率が+5.5%(最高:愛知県+7.0%、最低:秋田県+2.7%)であるのに対し、後発医薬品の伸び率は+3.2%(最高:愛知県+4.8%、最低:岩手県+0.2%)であった。

表11-1 都道府県別 調剤医療費の報酬別内訳

令和5年度

	総 額 (単位:億円)								処方箋1枚当たり (単位:円)				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合 (%)	薬剤料	後発医薬品	構成割合 (%)	特定保険医療材料	構成割合 (%)	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料		
全 国	82,678	22,474	27.2	60,041	11,611	72.6	162	0.2	9,343	2,540	6,785	1,312	18
北海道	3,910	934	23.9	2,967	597	75.9	8	0.2	11,009	2,630	8,356	1,682	23
青 森	953	249	26.1	702	141	73.7	2	0.2	9,780	2,552	7,206	1,446	23
岩 手	874	224	25.6	649	138	74.2	1	0.2	10,192	2,609	7,567	1,610	15
宮 城	1,593	426	26.7	1,163	234	73.0	4	0.2	9,434	2,521	6,890	1,384	22
秋 田	788	194	24.6	592	122	75.1	2	0.2	10,683	2,633	8,028	1,657	22
山 形	738	206	27.9	530	115	71.8	2	0.3	9,259	2,582	6,652	1,444	25
福 島	1,196	322	26.9	872	186	72.9	2	0.1	9,642	2,595	7,034	1,496	14
茨 城	1,880	467	24.8	1,410	276	75.0	3	0.2	10,210	2,536	7,657	1,497	17
栃 木	1,173	316	26.9	854	181	72.8	3	0.2	9,229	2,487	6,721	1,423	21
群 馬	1,115	294	26.4	819	164	73.4	2	0.2	9,511	2,510	6,983	1,396	18
埼 玉	4,389	1,214	27.7	3,167	643	72.2	8	0.2	9,011	2,493	6,502	1,321	16
千 葉	3,812	1,017	26.7	2,788	565	73.1	8	0.2	9,426	2,514	6,893	1,396	19
東 京	9,662	2,665	27.6	6,982	1,261	72.3	16	0.2	8,952	2,469	6,469	1,168	14
神奈川	6,230	1,693	27.2	4,527	851	72.7	10	0.2	9,071	2,466	6,591	1,239	15
新 潟	1,415	385	27.2	1,028	217	72.6	2	0.2	9,242	2,515	6,712	1,419	14
富 山	634	154	24.2	479	86	75.5	1	0.2	10,651	2,580	8,046	1,450	25
石 川	708	178	25.1	529	97	74.7	1	0.2	10,740	2,692	8,026	1,471	22
福 井	416	100	24.1	315	57	75.6	1	0.3	10,646	2,567	8,052	1,462	27
山 梨	521	143	27.4	378	81	72.4	1	0.1	9,221	2,528	6,679	1,433	14
長 野	1,374	357	26.0	1,015	202	73.9	2	0.2	10,361	2,689	7,654	1,522	17
岐 阜	1,233	348	28.2	883	173	71.6	3	0.2	8,905	2,511	6,375	1,248	19
静 岡	2,270	649	28.6	1,617	330	71.2	5	0.2	8,841	2,526	6,296	1,286	19
愛 知	4,420	1,262	28.6	3,150	606	71.3	8	0.2	8,737	2,495	6,226	1,198	16
三 重	1,092	300	27.5	790	151	72.3	2	0.2	9,139	2,511	6,611	1,260	17
滋 賀	880	229	26.0	647	122	73.5	4	0.4	9,897	2,578	7,278	1,367	41
京 都	1,624	392	24.1	1,228	208	75.6	4	0.3	10,865	2,623	8,212	1,394	30
大 阪	5,934	1,616	27.2	4,307	771	72.6	12	0.2	9,508	2,589	6,901	1,235	19
兵 庫	3,705	1,017	27.4	2,682	485	72.4	6	0.2	9,230	2,534	6,681	1,209	16
奈 良	704	213	30.3	490	99	69.6	1	0.1	8,569	2,596	5,962	1,200	11
和歌山	590	153	25.9	436	78	73.8	2	0.3	9,931	2,571	7,331	1,315	28
鳥 取	372	100	26.8	272	52	73.0	1	0.2	10,043	2,693	7,332	1,412	18
島 根	492	139	28.2	352	75	71.6	1	0.2	9,586	2,703	6,864	1,452	19
岡 山	1,043	305	29.2	736	151	70.6	2	0.2	8,889	2,599	6,273	1,284	18
広 島	1,931	534	27.7	1,393	256	72.1	4	0.2	9,237	2,556	6,663	1,224	18
山 口	957	274	28.7	681	137	71.2	2	0.2	8,992	2,577	6,400	1,287	15
徳 島	468	124	26.6	342	60	73.2	1	0.2	10,129	2,693	7,414	1,291	22
香 川	691	181	26.1	508	89	73.5	2	0.3	10,020	2,619	7,367	1,290	34
愛 媛	854	227	26.6	624	118	73.1	3	0.3	9,858	2,618	7,210	1,359	30
高 知	503	123	24.4	380	72	75.5	1	0.1	11,223	2,739	8,469	1,600	15
福 岡	3,493	1,029	29.5	2,457	467	70.4	6	0.2	8,517	2,509	5,992	1,139	15
佐 賀	566	183	32.3	382	79	67.4	2	0.3	8,014	2,588	5,403	1,112	23
長 崎	963	271	28.1	691	140	71.7	2	0.2	9,376	2,635	6,721	1,360	20
熊 本	1,104	317	28.7	785	162	71.1	2	0.2	8,785	2,521	6,246	1,290	19
大 分	811	220	27.1	590	117	72.8	1	0.2	9,707	2,627	7,063	1,406	17
宮 崎	735	210	28.6	524	110	71.3	1	0.2	8,889	2,540	6,335	1,333	15
鹿児島	1,037	310	29.9	724	161	69.8	3	0.3	8,817	2,635	6,158	1,370	24
沖 縄	826	215	26.0	608	130	73.6	3	0.4	9,754	2,533	7,182	1,538	39

注)保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

表11-2 都道府県別 調剤医療費の報酬内訳 (対前年度比)

	総 額								処方箋1枚当たり				
	調剤医療費								調剤医療費				
	技術料	構成割合	薬剤料	後発医薬品	構成割合	特定保険医療材料	構成割合	技術料	薬剤料	後発医薬品	特定保険医療材料		
全 国	5.5	5.7	0.0	5.5	3.2	▲ 0.0	1.2	▲ 0.0	▲ 0.5	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 2.8	▲ 4.6
北海道	3.9	5.3	0.3	3.5	2.4	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 0.0	▲ 1.7	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 3.0	▲ 6.2
青 森	3.4	4.2	0.2	3.2	1.4	▲ 0.2	0.4	▲ 0.0	▲ 1.2	▲ 0.5	▲ 1.5	▲ 3.2	▲ 4.2
岩 手	3.2	3.6	0.1	3.1	0.2	▲ 0.1	▲ 3.4	▲ 0.0	▲ 0.4	0.1	▲ 0.5	▲ 3.3	▲ 6.8
宮 城	5.2	6.0	0.2	5.0	2.9	▲ 0.2	1.8	▲ 0.0	▲ 0.5	0.2	▲ 0.8	▲ 2.7	▲ 3.8
秋 田	2.8	3.1	0.1	2.7	0.9	▲ 0.0	▲ 5.5	▲ 0.0	0.2	0.5	0.2	▲ 1.6	▲ 7.9
山 形	3.7	4.2	0.1	3.5	1.5	▲ 0.1	2.1	▲ 0.0	▲ 0.3	0.2	▲ 0.5	▲ 2.4	▲ 1.9
福 島	3.6	4.8	0.3	3.2	1.3	▲ 0.3	0.4	▲ 0.0	▲ 1.1	▲ 0.0	▲ 1.5	▲ 3.4	▲ 4.2
茨 城	4.2	5.3	0.3	3.9	2.6	▲ 0.3	▲ 2.2	▲ 0.0	▲ 1.1	▲ 0.0	▲ 1.4	▲ 2.6	▲ 7.2
栃 木	5.1	5.4	0.1	5.1	2.6	▲ 0.0	▲ 5.7	▲ 0.0	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	▲ 2.6	▲ 10.4
群 馬	6.1	5.7	▲ 0.1	6.3	3.0	0.1	0.2	▲ 0.0	▲ 0.1	▲ 0.5	0.1	▲ 3.1	▲ 5.7
埼 玉	6.7	7.3	0.1	6.5	3.7	▲ 0.1	2.9	▲ 0.0	▲ 1.0	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 3.8	▲ 4.5
千 葉	5.4	6.4	0.2	5.1	4.1	▲ 0.2	2.7	▲ 0.0	▲ 1.5	▲ 0.7	▲ 1.9	▲ 2.8	▲ 4.1
東 京	7.0	7.0	0.0	7.0	4.3	▲ 0.0	▲ 1.3	▲ 0.0	▲ 1.3	▲ 1.2	▲ 1.3	▲ 3.7	▲ 8.9
神奈川	6.3	5.9	▲ 0.1	6.5	4.1	0.1	1.0	▲ 0.0	▲ 0.8	▲ 1.2	▲ 0.6	▲ 2.9	▲ 5.8
新 潟	4.5	4.1	▲ 0.1	4.7	1.7	0.1	▲ 4.9	▲ 0.0	0.2	▲ 0.2	0.4	▲ 2.4	▲ 8.8
富 山	5.1	4.1	▲ 0.2	5.4	1.8	0.2	▲ 0.4	▲ 0.0	0.1	▲ 0.9	0.4	▲ 3.0	▲ 5.1
石 川	5.4	5.4	0.0	5.4	4.1	▲ 0.0	1.4	▲ 0.0	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 2.1	▲ 4.6
福 井	5.9	5.2	▲ 0.1	6.1	3.7	0.1	4.9	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.8	▲ 0.0	▲ 2.3	▲ 1.2
山 梨	3.9	4.5	0.2	3.7	2.0	▲ 0.2	0.8	▲ 0.0	▲ 0.8	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 2.6	▲ 3.7
長 野	5.1	4.3	▲ 0.2	5.3	3.3	0.2	1.5	▲ 0.0	▲ 0.3	▲ 1.0	▲ 0.0	▲ 2.0	▲ 3.6
岐 阜	6.8	6.7	▲ 0.0	6.9	3.8	0.0	7.5	0.0	0.1	▲ 0.1	0.1	▲ 2.8	0.6
静 岡	5.4	4.7	▲ 0.2	5.6	2.6	0.2	1.9	▲ 0.0	0.2	▲ 0.4	0.4	▲ 2.4	▲ 3.1
愛 知	7.3	8.2	0.2	7.0	4.8	▲ 0.2	3.8	▲ 0.0	▲ 0.8	0.0	▲ 1.1	▲ 3.1	▲ 4.0
三 重	5.8	4.7	▲ 0.3	6.2	2.4	0.3	▲ 0.7	▲ 0.0	0.7	▲ 0.3	1.1	▲ 2.5	▲ 5.6
滋 賀	6.7	5.9	▲ 0.2	7.0	4.0	0.2	1.9	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 1.0	0.0	▲ 2.7	▲ 4.7
京 都	4.8	5.3	0.1	4.7	4.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.0	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 1.4	▲ 5.3
大 阪	5.8	5.3	▲ 0.1	5.9	3.9	0.1	3.1	▲ 0.0	▲ 0.4	▲ 0.8	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 2.9
兵 庫	5.6	5.4	▲ 0.1	5.7	3.3	0.1	2.3	▲ 0.0	0.0	▲ 0.2	0.1	▲ 2.2	▲ 3.1
奈 良	5.9	6.5	0.2	5.6	3.3	▲ 0.2	0.8	▲ 0.0	▲ 0.5	0.1	▲ 0.8	▲ 3.0	▲ 5.3
和歌山	4.6	5.2	0.2	4.4	2.7	▲ 0.1	0.8	▲ 0.0	▲ 0.8	▲ 0.2	▲ 1.0	▲ 2.5	▲ 4.4
鳥 取	3.7	5.3	0.4	3.2	1.9	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 1.9	▲ 0.4	▲ 2.4	▲ 3.6	▲ 5.5
島 根	4.0	2.9	▲ 0.3	4.4	3.2	0.3	▲ 9.8	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 1.0	0.4	▲ 0.8	▲ 13.2
岡 山	3.7	4.8	0.3	3.3	1.4	▲ 0.3	▲ 1.3	▲ 0.0	▲ 0.7	0.3	▲ 1.1	▲ 3.0	▲ 5.5
広 島	4.5	4.5	0.0	4.5	2.1	0.0	▲ 2.1	▲ 0.0	0.2	0.2	0.3	▲ 2.1	▲ 6.0
山 口	3.8	4.0	0.0	3.8	0.9	▲ 0.0	1.2	▲ 0.0	0.5	0.6	0.4	▲ 2.4	▲ 2.0
徳 島	6.9	7.6	0.2	6.6	4.5	▲ 0.2	7.9	0.0	▲ 0.6	0.1	▲ 0.9	▲ 2.8	0.3
香 川	3.4	4.9	0.4	2.9	3.8	▲ 0.4	▲ 0.9	▲ 0.0	▲ 1.2	0.2	▲ 1.7	▲ 0.8	▲ 5.3
愛 媛	4.8	6.4	0.4	4.2	3.2	▲ 0.4	▲ 1.3	▲ 0.0	▲ 1.5	0.0	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 7.2
高 知	3.3	4.3	0.2	3.0	1.0	▲ 0.2	▲ 8.4	▲ 0.0	0.4	1.4	0.1	▲ 1.8	▲ 11.0
福 岡	5.9	5.4	▲ 0.2	6.2	3.0	0.2	2.9	▲ 0.0	1.0	0.4	1.2	▲ 1.8	▲ 1.9
佐 賀	4.3	3.7	▲ 0.2	4.6	1.7	0.2	14.1	0.0	0.9	0.3	1.1	▲ 1.7	10.4
長 崎	3.9	3.4	▲ 0.1	4.2	1.9	0.1	0.8	▲ 0.0	0.8	0.3	1.0	▲ 1.1	▲ 2.3
熊 本	5.8	4.9	▲ 0.2	6.1	2.0	0.3	▲ 0.2	▲ 0.0	1.4	0.5	1.7	▲ 2.3	▲ 4.3
大 分	5.6	5.4	▲ 0.0	5.6	1.9	0.0	2.9	▲ 0.0	1.0	0.9	1.0	▲ 2.5	▲ 1.5
宮 崎	4.9	4.7	▲ 0.1	5.0	1.3	0.1	0.6	▲ 0.0	0.9	0.7	1.0	▲ 2.5	▲ 3.2
鹿 児 島	5.6	5.3	▲ 0.1	5.7	1.7	0.0	17.2	0.0	0.8	0.6	0.9	▲ 2.9	12.0
沖 縄	6.4	5.4	▲ 0.2	6.7	2.5	0.2	5.1	▲ 0.0	1.3	0.3	1.6	▲ 2.4	0.0

注1) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

注2) 構成割合は対前年度差を示している。

12. 都道府県別の状況(2)(内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解)

内服薬の処方箋1枚当たり薬剤料を都道府県別にみると、高知県が6,864円と最も高く、処方箋1枚当たり薬剤種類数、1種類当たり投薬日数、1種類1日当たり薬剤料の3要素に分解すると、3.06、30.6日、74円となっていた。一方、佐賀県が4,343円と最も低く、3要素に分解すると、2.87、22.5日、67円となっていた。

表12 都道府県別 内服薬 処方箋1枚当たり薬剤料の3要素分解

令和5年度

	実 額				対前年度比 (単位:%)			
	処方箋1枚当たり薬剤料 (円)				処方箋1枚当たり薬剤料			
	処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数(日)	1種類1日当たり薬剤料(円)		処方箋1枚当たり薬剤種類数	1種類当たり投薬日数	1種類1日当たり薬剤料	
全 国	5,334	2.79	27.0	71	▲ 1.0	1.0	▲ 3.4	1.4
北海道	6,635	3.03	32.1	68	▲ 2.6	0.8	▲ 3.6	0.3
青 森	5,892	2.87	30.0	68	▲ 1.7	0.7	▲ 3.1	0.7
岩 手	6,162	2.88	31.9	67	▲ 0.7	1.0	▲ 3.1	1.5
宮 城	5,384	2.77	28.2	69	▲ 1.4	1.5	▲ 3.9	1.1
秋 田	6,522	3.02	31.6	68	▲ 0.1	1.0	▲ 2.3	1.2
山 形	5,414	2.81	28.3	68	▲ 0.6	1.2	▲ 2.7	1.0
福 島	5,711	2.91	29.7	66	▲ 1.8	0.9	▲ 3.3	0.7
茨 城	6,103	2.83	30.2	71	▲ 1.8	0.8	▲ 3.2	0.6
栃 木	5,436	2.86	27.7	69	▲ 0.5	1.1	▲ 2.8	1.1
群 馬	5,543	2.84	27.4	71	▲ 0.4	0.9	▲ 3.4	2.2
埼 玉	5,137	2.73	27.4	69	▲ 1.3	1.4	▲ 4.5	1.9
千 葉	5,477	2.69	29.1	70	▲ 2.2	1.7	▲ 4.3	0.5
東 京	5,017	2.64	25.6	74	▲ 1.9	1.3	▲ 4.9	1.9
神奈川	5,102	2.62	27.0	72	▲ 1.1	1.3	▲ 4.2	1.9
新 潟	5,227	2.60	30.7	65	▲ 0.8	1.4	▲ 3.2	1.1
富 山	6,435	2.81	30.5	75	0.0	0.9	▲ 2.7	1.9
石 川	6,419	2.95	29.2	74	▲ 1.4	0.7	▲ 3.3	1.2
福 井	6,541	2.92	29.2	77	▲ 0.5	0.7	▲ 3.3	2.1
山 梨	5,288	2.69	30.4	65	▲ 1.7	1.0	▲ 3.1	0.4
長 野	6,081	2.79	30.9	71	0.0	0.5	▲ 2.2	1.8
岐 阜	4,928	2.83	25.7	68	▲ 0.9	1.0	▲ 3.3	1.5
静 岡	4,942	2.69	27.3	67	0.1	1.3	▲ 2.6	1.4
愛 知	4,801	2.71	24.7	72	▲ 1.6	1.2	▲ 4.1	1.3
三 重	5,244	2.73	26.5	72	0.7	1.6	▲ 3.2	2.3
滋 賀	5,598	2.68	28.8	72	▲ 1.0	1.0	▲ 3.6	1.6
京 都	6,357	2.85	28.4	79	▲ 1.3	0.5	▲ 2.4	0.7
大 阪	5,375	2.90	24.8	75	▲ 0.6	1.0	▲ 2.9	1.4
兵 庫	5,090	2.70	25.8	73	▲ 0.5	1.1	▲ 3.0	1.4
奈 良	4,816	2.72	27.2	65	▲ 0.5	1.1	▲ 3.5	2.1
和歌山	5,827	2.87	27.4	74	▲ 1.6	0.0	▲ 2.6	1.0
鳥 取	5,954	2.89	26.9	76	▲ 2.3	0.9	▲ 3.5	0.3
島 根	5,440	2.97	27.2	67	▲ 0.7	0.6	▲ 2.1	0.9
岡 山	4,983	2.87	26.1	66	▲ 1.7	0.1	▲ 2.4	0.6
広 島	5,160	2.86	24.9	72	▲ 0.4	1.0	▲ 2.4	1.1
山 口	5,029	2.75	26.0	70	▲ 0.0	0.6	▲ 2.1	1.5
徳 島	5,856	2.99	25.9	76	▲ 1.6	0.7	▲ 2.8	0.5
香 川	5,834	2.77	26.6	79	▲ 1.8	0.5	▲ 2.5	0.2
愛 媛	5,679	2.75	27.8	74	▲ 2.3	1.3	▲ 3.9	0.3
高 知	6,864	3.06	30.6	74	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 1.2	0.9
福 岡	4,756	2.89	23.2	71	0.8	0.8	▲ 2.3	2.3
佐 賀	4,343	2.87	22.5	67	1.0	1.0	▲ 1.8	1.8
長 崎	5,307	3.01	26.4	67	0.7	0.1	▲ 1.0	1.6
熊 本	5,061	3.04	24.8	67	1.5	1.0	▲ 2.2	2.8
大 分	5,776	3.10	26.0	72	1.4	0.4	▲ 2.3	3.4
宮 崎	5,025	2.89	25.9	67	1.3	1.0	▲ 2.3	2.6
鹿 児 島	4,913	3.01	25.2	65	0.4	0.9	▲ 2.3	1.9
沖 縄	5,473	2.74	29.6	67	0.6	0.6	▲ 2.3	2.4

注) 保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

13. 都道府県別の状況(3)(後発医薬品割合)

令和5年度末における後発医薬品割合を都道府県別にみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは沖縄県の91.2%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは鹿児島県の22.5%であった。一方、数量ベース(新指標)で最も低かったのは徳島県の81.9%であり、薬剤料ベースで最も低かったのは京都府の17.3%であった。

対前年同期差をみると、数量ベース(新指標)で最も高かったのは大阪府の+1.9%であった。また、薬剤料ベースで最も高かったのは千葉県の▲0.6%であった。一方、数量ベース(新指標)で最も低かったのは沖縄県の+0.9%であり、薬剤料ベースが最も低かったのは宮崎県の▲1.8%であった。

令和6年3月
(単位:%)

表13 都道府県別 後発医薬品割合

	後発医薬品割合			後発医薬品 調剤率	対前年同期差			後発医薬品 調剤率
	数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース		数量ベース (新指標)	数量ベース (旧指標)	薬剤料ベース	
全国	85.3	60.2	19.7	81.3	1.5	0.3	▲ 1.0	1.0
北海道	86.2	60.9	20.3	82.9	1.4	0.3	▲ 0.8	0.6
青森	85.3	61.6	20.0	82.8	1.5	0.6	▲ 0.8	1.2
岩手	88.8	62.9	21.5	84.4	1.3	0.0	▲ 1.2	0.8
宮城	87.4	61.6	20.5	83.8	1.5	0.5	▲ 1.0	1.2
秋田	86.7	61.7	20.3	84.3	1.7	0.6	▲ 1.4	1.1
山形	89.2	64.4	22.0	85.0	1.7	0.7	▲ 1.0	1.0
福島	86.7	61.7	21.4	85.1	1.5	0.3	▲ 1.2	0.9
茨城	85.1	61.1	20.0	81.9	1.6	0.5	▲ 0.9	1.1
栃木	87.2	62.5	21.5	84.3	1.4	0.1	▲ 1.4	0.8
群馬	87.5	62.2	20.4	83.7	1.4	0.0	▲ 1.5	0.6
埼玉	86.0	61.2	20.9	82.2	1.6	0.2	▲ 1.2	0.9
千葉	85.8	61.0	20.9	81.8	1.6	0.4	▲ 0.6	1.2
東京	81.9	56.6	18.7	77.4	1.7	0.3	▲ 0.9	1.3
神奈川	83.6	59.0	19.4	79.0	1.5	0.3	▲ 0.9	1.4
新潟	87.3	62.7	21.3	83.6	1.7	0.5	▲ 1.2	0.8
富山	86.6	60.9	18.3	82.1	1.3	0.1	▲ 1.0	0.6
石川	85.8	59.9	18.4	81.2	1.7	0.4	▲ 0.9	1.3
福井	86.5	61.3	18.2	82.2	1.6	0.2	▲ 1.7	0.5
山梨	85.0	61.0	21.8	80.7	1.7	0.1	▲ 1.0	1.6
長野	87.4	62.4	20.0	81.9	1.4	0.1	▲ 1.5	0.6
岐阜	85.0	59.9	20.1	82.9	1.7	0.4	▲ 1.3	1.0
静岡	86.4	62.0	21.2	83.0	1.4	0.3	▲ 1.0	1.0
愛知	86.3	60.2	19.9	82.6	1.6	0.3	▲ 1.0	0.9
三重	85.8	60.7	19.8	81.8	1.5	0.3	▲ 1.3	1.0
滋賀	85.6	61.2	19.2	81.1	1.3	0.0	▲ 1.6	0.7
京都	83.1	58.2	17.3	79.0	1.5	0.2	▲ 0.8	0.9
大阪	83.5	58.5	18.3	79.6	1.9	0.4	▲ 0.8	1.3
兵庫	84.4	59.4	18.4	79.6	1.5	0.1	▲ 1.1	0.9
奈良	82.7	59.0	20.5	79.0	1.5	0.1	▲ 1.6	0.8
和歌山	84.2	59.1	18.1	79.7	1.7	0.4	▲ 1.0	0.8
鳥取	87.8	63.2	19.3	82.0	1.3	0.2	▲ 0.8	1.3
島根	88.6	63.9	20.9	83.4	1.5	0.4	▲ 1.4	0.9
岡山	86.1	61.3	20.4	81.6	1.3	0.0	▲ 1.7	0.6
広島	83.9	58.4	18.6	80.5	1.7	0.2	▲ 1.2	0.6
山口	87.5	62.6	20.5	83.2	1.6	0.2	▲ 1.0	0.7
徳島	81.9	57.8	17.6	80.0	1.7	0.0	▲ 0.9	0.6
香川	83.5	57.9	17.7	79.7	1.8	0.2	▲ 1.0	1.1
愛媛	86.6	62.1	19.5	82.4	1.6	0.5	▲ 0.8	0.7
高知	82.4	59.8	19.3	80.4	1.7	0.7	▲ 1.0	1.2
福岡	85.9	60.3	19.2	82.1	1.5	0.3	▲ 0.9	0.8
佐賀	87.4	62.8	21.2	83.9	1.8	0.6	▲ 0.7	1.0
長崎	86.5	61.5	20.5	83.4	1.5	0.7	▲ 1.1	0.8
熊本	87.9	62.5	21.0	85.5	1.4	0.2	▲ 1.2	0.3
大分	86.0	61.6	20.1	83.1	1.5	0.3	▲ 1.5	0.7
宮崎	88.9	63.3	21.2	84.9	1.4	0.2	▲ 1.8	0.2
鹿児島	89.7	64.6	22.5	85.5	1.0	▲ 0.1	▲ 1.3	0.5
沖縄	91.2	67.2	21.6	86.1	0.9	▲ 0.2	▲ 1.4	0.2

注)保険薬局の所在する都道府県ごとに集計したものである。

14. 処方箋発行元医療機関別分析

調剤医療費を処方箋発行元医療機関別にみると、医科病院が3兆4,105億円であり、医科診療所が4兆8,274億円であった。医科診療所の中では、内科が2兆5,817億円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費は、医科診療所が6,900円であったのに対し、医科病院が19,284円と高く、中でも大学病院が39,481円と最も高かった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費の伸び率が最も高かったのは大学病院の+6.9%であり、最も低かったのは耳鼻咽喉科の▲2.4%であった。

令和5年度末の後発医薬品割合(数量ベース、新指標)をみると、医科病院では85.2%、医科診療所では85.3%であった。医科の中で最も高かったのは産婦人科の89.5%であり、最も低かったのは眼科の77.3%であった。医科の中で伸び幅が最も大きかったのは皮膚科の+3.5%であり、最も小さかったのは眼科の+0.3%であった。

表14-1 調剤医療費の内訳(総額)

令和5年度

	実数	総数																					
		医科																		歯科			
		病院								診療所										病院	診療所		
		大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他							
調剤医療費(億円)	82,678	82,378	34,105	6,776	14,683	12,581	65	9,232	24,873	48,274	25,817	2,260	1,390	3,155	3,094	626	1,852	3,067	7,013	163	66	97	
処方箋枚数(万枚)	88,489	87,647	17,685	1,716	6,096	9,812	61	8,021	9,665	69,961	30,176	5,287	1,804	6,107	5,688	888	4,561	6,782	8,667	669	212	457	
対前年(%)																							
調剤医療費	5.5	5.6	3.5	5.9	3.6	2.2	▲11.1	2.0	4.1	7.0	7.7	20.0	2.7	1.0	7.4	8.2	0.0	16.2	3.1	1.3	1.6	1.1	
処方箋枚数	6.1	6.1	1.5	▲1.0	1.1	2.3	▲14.1	2.9	0.4	7.4	7.8	21.5	0.7	1.4	2.2	6.9	0.8	19.0	3.6	1.4	0.7	1.7	

注1) 「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。
 注2) 処方箋発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。

表14-2 後発医薬品割合

令和6年3月
(単位:%)

	実数	総数																					
		医科																		歯科			
		病院								診療所										病院	診療所		
		大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他							
数量ベース(新指標)	85.3	85.3	85.2	77.9	85.7	86.4	84.6	86.6	84.2	85.3	86.3	84.2	86.3	83.2	84.4	89.5	77.3	86.7	82.9	87.4	90.3	84.1	
薬剤料ベース	19.7	19.7	14.1	7.7	12.4	20.6	23.3	23.0	11.4	24.9	24.2	21.1	26.2	32.5	15.0	35.0	23.3	34.9	24.5	33.4	28.5	41.6	
対前年																							
数量ベース(新指標)	1.5	1.6	1.4	1.6	1.3	1.4	2.5	1.4	1.3	1.6	1.5	1.8	1.5	1.6	3.5	0.4	0.3	1.0	1.7	▲1.4	▲0.7	▲2.1	
薬剤料ベース	▲1.0	▲1.0	▲0.8	▲0.5	▲0.7	▲1.0	0.4	▲0.9	▲0.8	▲1.4	▲1.5	▲1.9	▲1.5	▲1.2	▲2.8	1.8	0.7	1.6	▲1.3	0.0	0.5	▲1.3	

注1) 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
 注2) 新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表14-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

令和5年度

	総数																					
	医科																		歯科			
	病院								診療所										病院	診療所		
		大学病院	公的病院	法人病院	個人病院	200床未満	200床以上	内科	小児科	外科	整形外科	皮膚科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	その他						
調剤医療費	9,343	9,399	19,284	39,481	24,086	12,822	10,649	11,510	25,735	6,900	8,556	4,274	7,707	5,166	5,439	7,046	4,060	4,522	8,091	2,436	3,095	2,130
技術料	2,540	2,545	2,792	2,695	2,779	2,817	2,733	2,811	2,775	2,483	2,769	2,289	2,667	2,131	2,125	2,171	1,580	2,244	2,741	1,748	1,738	1,753
構成割合(%)	27.2	27.1	14.5	6.8	11.5	22.0	25.7	24.4	10.8	36.0	32.4	53.5	34.6	41.3	39.1	30.8	38.9	49.6	33.9	71.8	56.2	82.3
調剤技術料	1,306	1,307	1,288	1,215	1,279	1,306	1,276	1,313	1,266	1,312	1,366	1,479	1,340	1,149	1,297	1,154	969	1,329	1,324	1,106	1,048	1,133
調剤基本料	794	794	772	688	770	788	764	798	750	799	822	797	826	776	733	813	767	799	792	785	725	813
薬剤調製料	443	444	469	474	459	474	477	473	465	438	500	433	473	362	325	312	198	457	468	318	317	318
加算料	69	69	47	53	50	44	35	42	51	75	45	249	41	10	239	29	4	73	64	3	6	2
薬学管理料	1,234	1,238	1,504	1,480	1,500	1,511	1,457	1,498	1,509	1,171	1,403	809	1,327	982	828	1,017	611	915	1,417	642	690	620
薬剤料	6,785	6,835	16,431	36,652	21,219	9,973	7,900	8,672	22,870	4,410	5,770	1,985	5,034	3,033	3,314	4,875	2,480	2,278	5,345	687	1,355	377
構成割合(%)	72.6	72.7	85.2	92.8	88.1	77.8	74.2	75.3	88.9	63.9	67.4	46.4	65.3	58.7	60.9	69.2	61.1	50.4	66.1	28.2	43.8	17.7
内服薬	5,339	5,379	13,138	26,739	17,143	8,313	6,551	7,186	18,078	3,417	4,868	1,265	4,310	2,031	1,282	4,285	156	1,746	4,805	536	1,060	293
屯服薬他	38	38	65	94	75	53	39	44	82	32	38	18	35	13	3	15	1	14	79	33	41	29
注射薬	631	637	2,257	8,320	2,856	833	658	665	3,577	227	278	123	132	485	421	92	4	36	102	21	64	1
外用薬	777	782	972	1,500	1,145	774	652	778	1,133	734	585	578	557	504	1,608	483	2,319	481	359	97	189	54
(再掲)後発医薬品	1,312	1,321	2,318	2,816	2,626	2,043	1,841	1,979	2,600	1,068	1,357	427	1,292	997	511	1,611	581	714	1,303	225	373	156
特定保険医療材料料	18	18	61	134	87	32	16	27	89	8	16	1	6	2	0	1	0	0	4	1	2	0
構成割合(%)	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.2	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
調剤医療費	▲0.5	▲0.6	2.0	6.9	2.5	▲0.1	3.6	▲0.8	3.7	▲0.3	▲0.1	▲1.3	2.0	▲0.4	5.0	1.3	▲0.8	▲2.4	▲0.5	▲0.1	0.9	▲0.6
技術料	▲0.4	▲0.4	0.3	0.7	0.4	0.2	5.0	0.1	0.5	▲0.5	▲1.1	▲1.2	0.4	0.7	0.4	▲0.1	0.0	▲0.6	▲0.0	0.5	1.3	0.1
構成割合(%)	0.0	0.0	▲0.2	▲0.4	▲0.2	0.1	0.3	0.2	▲0.3	▲0.1	▲0.3	0.0	▲0.6	0.4	▲1.8	▲0.4	0.3	0.9	0.1	0.4	0.2	0.5
調剤技術料	1.1	1.1	1.5	1.0	1.5	1.5	7.5	0.1	▲0.1	1.0	1.0	0.8	1.6	0.1	▲0.1	▲1.0	▲0.8	1.5	0.0	▲0.1	1.3	▲0.8
調剤基本料	1.0	1.0	2.9	2.3	2.8	3.0	10.8	0.0	▲0.2	0.5	1.3	▲1.0	2.2	0.0	▲0.2	▲2.0	▲0.8	▲0.7	0.3	▲0.3	2.0	▲1.2
薬剤調製料	1.0	1.0	▲0.5	▲0.5	▲0.6	▲0.6	3.0	0.2	▲0.1	1.5	0.7	5.1	0.7	0.2	▲0.1	0.7	▲0.8	5.0	▲0.3	0.2	▲0.1	0.3
加算料	2.3	2.3	▲0.8	▲2.5	0.6	▲1.4	2.2	▲0.5	0.3	2.4	▲0.1	▲0.7	▲1.2	▲0.5	0.3	7.9	6.0	6.5	▲1.4	▲2.6	▲4.4	1.8
薬学管理料	▲1.9	▲1.9	▲0.7	0.4	▲0.6	▲0.9	2.8	1.4	1.1	▲2.1	▲3.1	▲4.7	▲0.8	1.4	1.1	1.1	1.3	▲3.5	▲0.1	1.5	1.2	1.7
薬剤料	▲0.6	▲0.6	2.3	7.5	2.8	▲0.1	3.1	▲1.1	4.1	▲0.2	0.4	▲1.3	2.9	▲1.1	8.3	1.9	▲1.3	▲4.2	▲0.7	▲1.5	0.2	▲3.5
構成割合(%)	▲0.0	▲0.0	0.2	0.4	0.3	▲0.1	▲0.3	▲0.2	0.3	0.1	0.3	▲0.0	0.6	▲0.4	1.8	0.4	▲0.3	▲0.9	▲0.1	▲0.4	▲0.3	▲0.5
内服薬	▲1.0	▲1.1	1.2	5.5	1.5	▲0.5	6.0	▲1.3	2.7	0.0	0.5	0.9	3.5	▲2.3	4.6	1.4	▲2.9	2.2	▲1.3	▲2.1	▲1.0	▲3.1
屯服薬他	▲3.3	▲3.3	▲2.2	▲2.0	▲0.9	▲3.0	4.0	▲2.1	▲1.7	▲2.8	▲4.2	12.5	▲3.3	1.4	22.7	▲7.3	2.6	14.7	▲3.3	0.0	▲0.5	0.5
注射薬	6.9	6.9	11.6	15.8	13.5	5.5	15.3	3.0	14.0	6.1	0.1	▲7.1	▲4.4	1.7	53.6	11.4	10.4	28.7	25.7	68.7	69.9	64.7
外用薬	▲2.8	▲2.8	▲1.6	0.6	▲1.2	▲2.0	▲25.5	▲2.2	▲0.9	▲2.9	▲0.0	▲4.9	0.2	0.8	3.2	5.1	▲1.2	▲23.3	1.8	▲7.2	▲6.0	▲8.4
(再掲)後発医薬品	▲2.8	▲2.8	▲0.4	1.9	▲0.1	▲1.0	7.7	▲1.0	0.2	▲2.9	▲2.9	▲6.4	▲0.5	▲2.6	▲6.8	12.7	▲3.9	▲4.4	0.8	▲2.1	0.1	▲4.0
特定保険医療材料料	▲4.6	▲4.7	▲1.1	0.7	0.0	▲2.5	▲5.4	▲3.1	0.2	▲4.3	▲5.0	▲10.4	▲3.2	▲0.4	4.1	▲7.4	0.0	9.4	3.2	76.8	78.0	72.1
構成割合(%)	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、連携強化加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注4) 処方箋発行元医療機関が特定出来なかったものは掲載していないため、内訳を足し上げても総数と一致しない。

注5) 対前年度比(%)の構成割合は対前年度差を示している。

15. 制度別分析

調剤医療費を制度別にみると、総額が最も大きかったのは後期高齢者の2兆8,149億円であった。また、処方箋1枚当たり調剤医療費が最も大きかったのは公費の11,903円であり、伸び率が最も大きかったのは共済組合の0.5%、最も小さかったのは国保組合の▲0.7%であった。

令和5年度末の後発医薬品割合(数量ベース、新指標)をみると、最も高かったのは公費の90.8%、最も低かったのは国保組合の83.7%であった。伸び幅が最も大きかったのは健保組合の+1.8%、最も小さかったのは公費の+0.7%であった。

表15-1 調剤医療費の内訳(総額)

令和5年度

		総数										公費
		医療保険適用計									後期高 齢者	
		被用者保険計			国民健康保険計			市町村 国保	国保組 合			
協会一 般	共済組 合	健保組 合										
実 数	調剤医療費(億円)	82,678	79,227	32,597	16,957	4,132	11,461	18,480	17,317	1,163	28,149	3,452
	処方箋枚数(万枚)	88,489	85,590	41,364	20,762	5,516	15,029	18,179	16,824	1,355	26,046	2,900
対 前 年 度 比 (%)	調剤医療費	5.5	5.7	11.5	8.4	23.3	12.4	▲0.6	▲1.1	6.0	3.8	1.9
	処方箋枚数	6.1	6.2	11.7	8.6	22.7	12.5	▲1.0	▲1.6	6.8	3.5	2.1

注)「処方箋枚数」とは、調剤報酬明細書に記録される処方箋の「受付回数」を合計したものである。

表15-2 後発医薬品割合

令和6年3月
(単位:%)

		総数										公費
		医療保険適用計									後期高 齢者	
		被用者保険計			国民健康保険計			市町村 国保	国保組 合			
協会一 般	共済組 合	健保組 合										
実 数	数量ベース(新指標)	85.3	85.0	85.8	86.1	85.3	85.5	85.0	85.0	83.7	84.3	90.8
	薬剤料ベース	19.7	19.6	18.7	18.8	18.3	18.6	18.8	18.9	17.8	21.2	23.1
同 対 期 前 年	数量ベース(新指標)	1.5	1.6	1.7	1.7	1.8	1.8	1.5	1.5	1.7	1.5	0.7
	薬剤料ベース	▲1.0	▲1.0	▲1.1	▲1.1	▲1.1	▲1.0	▲0.8	▲0.8	▲0.9	▲1.1	▲1.4

注1)「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注2)新指標は、〔後発医薬品の数量〕/〔(後発医薬品のある先発医薬品の数量)+(後発医薬品の数量)〕で算出している。

表15-3 処方箋1枚当たり調剤医療費の内訳と構成割合

令和5年度

		総数										公費	
		医療保険適用計							国民健康保険計				後期高齢者
		被用者保険計			国民健康保険計								
		協会一般	共済組合	健保組合	市町村国保	国保組合							
実数 (円)	調剤医療費	9,343	9,257	7,881	8,167	7,491	7,626	10,165	10,293	8,583	10,807	11,903	
	技術料	2,540	2,520	2,327	2,355	2,293	2,301	2,522	2,537	2,341	2,826	3,114	
	構成割合(%)	27.2	27.2	29.5	28.8	30.6	30.2	24.8	24.6	27.3	26.1	26.2	
	調剤技術料	1,306	1,300	1,295	1,293	1,302	1,294	1,265	1,263	1,288	1,332	1,478	
	調剤基本料	794	792	788	788	789	789	778	777	791	807	850	
	薬剤調製料	443	439	414	419	411	408	434	435	414	482	560	
	加算料	69	69	92	86	102	96	54	52	83	43	67	
	薬学管理料	1,234	1,220	1,033	1,062	991	1,007	1,257	1,274	1,053	1,493	1,637	
	薬剤料	6,785	6,718	5,540	5,796	5,187	5,313	7,619	7,732	6,225	7,961	8,759	
	構成割合(%)	72.6	72.6	70.3	71.0	69.2	69.7	75.0	75.1	72.5	73.7	73.6	
	内服薬	5,339	5,279	4,028	4,284	3,644	3,813	6,113	6,233	4,633	6,682	7,121	
	屯服薬他	38	37	40	42	40	37	42	43	39	28	85	
	注射薬	631	630	739	755	754	711	715	711	765	397	681	
	外用薬	777	773	733	715	749	753	749	746	788	854	872	
	(再掲)後発医薬品	1,312	1,288	983	1,046	897	928	1,403	1,430	1,059	1,690	2,033	
	特定保険医療材料料	18	18	14	16	11	11	24	24	18	21	29	
構成割合(%)	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2		
対前年度比 (%)	調剤医療費	▲ 0.5	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.1	0.5	▲ 0.1	0.3	0.5	▲ 0.7	0.3	▲ 0.2	
	技術料	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.4	▲ 0.4	▲ 0.8	0.1	0.2	▲ 0.7	0.3	0.8	
	構成割合(%)	0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 0.3	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.0	0.3	
	調剤技術料	1.1	1.1	1.4	1.7	1.3	1.1	1.1	1.1	1.4	0.7	0.5	
	調剤基本料	1.0	1.0	0.4	0.9	0.3	▲ 0.3	1.1	1.2	0.5	1.8	2.1	
	薬剤調製料	1.0	1.2	3.2	2.8	4.0	3.6	1.0	0.9	2.6	▲ 0.7	▲ 1.2	
	加算料	2.3	2.6	2.3	3.1	▲ 1.3	1.9	2.2	1.6	4.2	▲ 3.3	▲ 4.6	
	薬学管理料	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 2.9	▲ 2.7	▲ 2.5	▲ 3.1	▲ 0.9	▲ 0.7	▲ 3.1	▲ 0.1	1.2	
	薬剤料	▲ 0.6	▲ 0.5	0.0	▲ 0.0	1.0	0.2	0.4	0.6	▲ 0.7	0.4	▲ 0.6	
	構成割合(%)	▲ 0.0	▲ 0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.1	▲ 0.0	0.0	▲ 0.3	
	内服薬	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.7	1.2	▲ 0.2	▲ 0.2	0.1	▲ 1.7	0.7	▲ 0.6	
	屯服薬他	▲ 3.3	▲ 3.2	▲ 5.0	▲ 4.3	▲ 6.5	▲ 5.2	▲ 1.1	▲ 0.7	▲ 6.3	▲ 2.5	▲ 1.8	
	注射薬	6.9	7.1	6.4	6.3	6.1	6.7	8.1	8.1	7.8	5.0	2.2	
	外用薬	▲ 2.8	▲ 2.8	▲ 2.5	▲ 2.0	▲ 4.2	▲ 2.9	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 2.4	▲ 3.7	▲ 1.9	
	(再掲)後発医薬品	▲ 2.8	▲ 2.8	▲ 3.8	▲ 3.6	▲ 2.4	▲ 4.0	▲ 1.9	▲ 1.6	▲ 3.9	▲ 0.1	▲ 1.5	
	特定保険医療材料料	▲ 4.6	▲ 4.8	▲ 9.6	▲ 8.4	▲ 5.5	▲ 11.6	▲ 2.5	▲ 2.2	▲ 5.9	1.9	▲ 0.6	
構成割合(%)	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	▲ 0.0	0.0	▲ 0.0		

注1) 「調剤基本料」には、地域支援体制加算(基準調剤加算)、連携強化加算、後発医薬品調剤体制加算、夜間・休日等加算、時間外等の加算(調剤基本料に係る部分)、及び在宅患者調剤加算を含めている。

注2) 「内服薬」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「内服」である薬剤をいう。

注3) 「屯服薬他」とは、内用薬のうち、調剤報酬明細書に記録された剤形が「屯服」「内滴」「浸煎」「湯」である薬剤をいう。

注4) 対前年度比(%)の構成割合は対前年度差を示している。

16. 薬効分類別後発医薬品割合(数量ベース、新指標)

後発医薬品割合(数量ベース、新指標)の算出対象となる医薬品(後発医薬品のある先発医薬品及び後発医薬品)の構成割合①をみると、循環器官用薬が24.3%と最も大きく、次いで中枢神経系用薬が17.3%を占めていた。また、これらの薬効分類における令和5年度末時点の後発医薬品割合は、それぞれ88.5%、80.5%であった。

表16 薬効分類別後発医薬品割合(新指標)

(単位:%)

	令和5年度													構成割合①(%)	構成割合②(%)
	4月~3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総数	84.8	84.3	84.5	84.5	84.4	84.6	84.6	84.7	85.0	85.2	85.4	85.3	85.3	100.0	100.0
11 中枢神経系用薬	79.7	78.2	78.7	79.0	79.3	79.5	79.7	79.8	80.2	80.5	80.7	80.7	80.5	17.3	13.7
112 催眠鎮静剤、抗不安剤	74.2	73.1	73.4	73.6	73.9	74.2	74.3	74.4	74.6	74.6	74.9	75.0	75.1	3.4	2.3
113 抗てんかん剤	67.1	65.7	66.2	66.0	66.7	66.9	67.0	67.5	67.5	67.5	67.9	68.3	67.8	1.4	1.4
114 解熱鎮痛消炎剤	88.8	87.1	87.6	88.0	88.3	88.5	88.6	88.6	89.5	89.7	90.0	89.8	89.5	5.4	3.9
116 抗パーキンソン剤	67.5	69.2	68.5	67.4	67.4	67.1	67.0	66.9	66.8	66.8	67.1	67.6	67.8	0.6	0.6
117 精神神経用剤	75.0	73.7	74.0	74.3	74.5	74.9	75.0	75.2	75.4	75.5	75.8	76.0	76.1	4.4	3.4
119 その他中枢神経系用薬	86.6	85.4	85.7	85.9	86.1	86.5	86.6	86.8	87.0	87.1	87.3	87.5	87.5	1.9	2.0
12 末梢神経系用薬	78.1	78.0	78.1	78.2	78.3	78.0	78.0	78.0	77.9	77.9	78.1	78.3	78.6	0.7	0.6
124 鎮痙剤	78.8	78.1	78.3	78.6	78.8	78.5	78.7	78.8	78.8	78.8	79.1	79.3	79.7	0.6	0.4
13 感覚器官用薬	70.7	69.9	71.3	71.8	72.0	72.3	72.4	71.7	71.8	71.2	70.4	67.9	67.2	1.6	1.4
131 眼科用剤	67.8	66.8	69.8	70.3	70.9	71.2	71.3	69.9	70.1	69.1	67.6	62.7	61.8	0.7	0.7
133 鎮量剤	72.8	72.2	72.2	72.7	72.8	73.1	73.1	72.8	72.8	72.5	73.0	73.0	73.1	0.8	0.5
21 循環器官用薬	88.0	87.7	87.9	88.1	87.3	87.7	87.9	88.1	88.2	88.2	88.3	88.4	88.5	24.3	17.1
212 不整脈用剤	83.3	82.8	82.9	82.9	82.9	83.2	83.3	83.4	83.5	83.5	83.5	83.7	83.8	1.7	1.1
213 利尿剤	94.3	93.7	93.8	93.9	94.1	94.2	94.3	94.3	94.4	94.6	94.7	94.7	94.7	1.4	1.0
214 血圧降下剤	87.3	87.6	87.8	88.1	85.5	86.4	86.8	87.1	87.4	87.5	87.7	87.9	88.0	7.0	4.9
217 血管拡張剤	88.4	87.7	88.0	88.2	88.3	88.4	88.4	88.5	88.5	88.5	88.6	88.7	88.8	6.5	4.1
218 高脂血症用剤	89.1	88.6	88.8	88.9	89.0	89.2	89.3	88.8	89.0	89.1	89.3	89.4	89.5	6.4	4.5
219 その他の循環器官用薬	85.8	85.3	85.5	85.5	85.4	85.3	85.6	85.8	86.0	86.1	86.5	86.5	86.6	1.1	1.4
22 呼吸器官用薬	85.8	86.2	85.3	84.1	84.6	85.9	85.7	85.6	86.0	86.4	87.1	86.7	86.4	4.9	4.0
223 去痰剤	87.6	87.9	87.2	86.0	86.3	87.4	87.5	87.8	88.0	88.1	88.4	88.2	88.2	3.9	2.5
225 気管支拡張剤	63.2	66.1	62.8	61.4	62.5	63.9	62.3	61.7	61.9	62.8	65.2	64.9	64.2	0.5	0.4
23 消化器官用薬	90.9	90.5	90.6	90.6	90.6	90.7	90.6	90.8	91.2	91.2	91.3	91.3	91.2	14.8	14.7
231 止しゃ剤、整腸剤	98.5	98.5	98.5	98.5	98.5	98.4	98.5	98.5	98.6	98.5	98.6	98.6	98.5	1.1	2.3
232 消化性潰瘍用剤	82.0	81.5	81.7	81.8	81.4	81.4	81.3	81.5	82.5	82.6	82.7	82.8	82.8	4.9	5.4
234 制酸剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	4.3	2.7
235 下剤、浣腸剤	96.7	96.7	96.7	96.8	96.8	96.9	96.8	96.8	96.8	96.8	96.7	96.4	96.1	1.1	1.3
236 利胆剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	1.2	0.9
239 その他の消化器官用薬	79.4	78.3	78.8	78.6	79.1	79.4	79.2	79.4	79.5	79.8	80.3	80.1	79.7	2.0	1.7
24 ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	92.7	93.0	93.0	93.0	93.2	93.1	93.3	92.0	92.1	92.2	92.4	92.6	92.9	0.7	1.9
25 泌尿生殖器官および肛門用薬	88.5	87.7	87.7	87.9	88.1	88.2	88.3	88.6	88.7	88.8	89.1	89.1	89.3	1.7	1.7
259 その他の泌尿生殖器官および肛門用薬	86.9	86.1	86.1	86.3	86.5	86.7	86.8	87.0	87.1	87.2	87.6	87.6	87.9	1.5	1.4
26 外用薬	63.8	63.3	63.7	63.9	63.8	63.9	64.2	64.1	64.1	63.7	63.8	63.8	63.8	6.8	5.7
264 鎮痛、鎮痒、収斂、消炎剤	65.2	64.6	65.0	65.2	65.1	65.1	65.4	65.4	65.4	65.2	65.3	65.2	65.3	6.0	4.8
31 ビタミン剤	93.1	93.2	93.2	93.2	93.1	93.0	93.0	93.1	93.1	93.1	93.2	93.2	93.3	4.1	3.6
311 ビタミンAおよびD剤	82.6	81.6	81.8	81.9	82.1	82.5	82.5	82.7	82.9	82.9	83.2	83.4	83.5	1.4	0.9
313 ビタミンB剤(ビタミンB1剤を除く)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	2.3	1.6
32 滋養強壮薬	78.5	84.1	83.0	82.4	80.8	78.6	77.3	76.5	75.7	75.7	75.5	76.0	76.6	0.7	4.1
322 無機質製剤	77.8	84.5	83.1	82.3	80.5	77.7	76.0	75.1	74.4	74.6	74.6	75.3	76.0	0.6	0.6
325 蛋白アミノ酸製剤	37.0	42.9	42.5	43.1	41.1	40.8	39.8	38.3	35.7	32.9	30.8	28.8	26.9	0.0	3.3
33 血液・体液用薬	95.2	94.9	95.0	94.8	94.8	94.7	94.7	95.1	95.3	95.6	95.7	95.7	95.8	8.3	7.8
333 血液凝固阻止剤	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	3.5	4.5
339 その他の血液・体液用薬	89.4	89.4	89.3	89.3	89.3	89.4	89.2	89.3	89.3	89.4	89.6	89.7	89.7	3.7	2.5
39 その他の代謝性医薬品	82.8	82.2	82.4	82.5	82.8	82.8	83.1	82.9	83.0	82.8	83.1	83.2	83.3	6.6	8.0
394 痛風治療剤	89.4	88.6	88.8	88.9	89.1	89.3	89.4	89.5	89.7	89.6	89.8	89.9	89.9	2.0	1.4
396 糖尿病用剤	87.8	87.1	87.4	87.4	87.6	87.7	87.8	87.8	88.0	88.0	88.2	88.2	88.3	2.8	4.9
399 他に分類されない代謝性医薬品	74.2	73.4	73.8	73.8	74.2	74.2	74.5	74.9	74.9	73.9	74.1	74.4	74.5	1.6	1.5
42 腫瘍用薬	84.8	84.1	84.3	84.1	84.4	84.7	84.5	84.9	85.0	84.9	85.5	85.5	85.5	0.3	0.3
422 代謝拮抗剤	88.5	88.1	87.8	88.0	88.1	88.3	88.3	88.7	88.8	88.9	89.0	89.1	89.3	0.1	0.1
429 その他の腫瘍用薬	83.6	82.9	83.2	82.9	83.3	83.5	83.4	83.7	83.8	83.7	84.3	84.3	84.4	0.2	0.2
44 アレルギー用薬	82.8	82.0	81.8	81.7	81.6	82.1	82.3	82.7	83.0	83.0	83.5	84.2	84.3	5.9	4.4
449 その他アレルギー用薬	83.0	82.3	82.1	82.1	82.1	82.6	82.8	83.1	82.9	82.8	83.4	84.1	84.2	5.7	4.2
52 漢方製剤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	8.9
61 抗生物質製剤	78.8	80.8	80.5	80.0	79.0	79.3	78.7	78.5	78.2	78.0	77.6	77.8	77.7	0.9	0.8
613 グラム陽性・陰性菌に作用するもの	74.6	78.1	77.6	76.7	75.0	74.7	74.1	74.3	74.0	73.8	72.0	72.9	72.7	0.4	0.4
614 グラム陽性菌、マイコプラズマに作用するもの	83.4	83.8	83.8	83.6	83.2	83.9	83.5	83.2	83.1	82.8	83.6	83.5	83.7	0.4	0.3
62 化学療法剤	65.4	68.3	68.7	68.5	68.1	68.5	65.9	63.6	61.4	62.2	64.5	64.1	64.1	0.5	0.5
624 合成抗菌剤	73.1	77.5	76.7	74.5	73.4	74.3	73.5	72.1	70.5	69.6	71.5	71.9	71.9	0.1	0.1
625 抗ウイルス剤	65.8	71.0	72.6	73.1	72.8	73.1	66.3	61.0	57.3	60.6	66.2	65.8	67.4	0.2	0.2

注1) 構成割合①は、新指標の分母である「後発医薬品のある先発医薬品の数量」+「後発医薬品の数量」について、各薬効分類の令和5年度中の医薬品数量が占める割合を示している。したがって、「後発医薬品のない先発医薬品」や「その他の品目」は含まれていない。

注2) 構成割合②は、「先発医薬品」、「後発医薬品」及び「その他の品目」全てを含んだ全医薬品における、令和5年度中の構成割合(数量ベース)を示している。

注3) 「その他の品目」は、厚生労働省ホームページ「薬価基準収載品目リスト及び後発医薬品に関する情報について」中の「5. その他(各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報)」において、「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」が☆、★又は空欄となっている医薬品を示す。

注4) 表示していない項目(薬効)があるので、構成割合を足しあげても総数と一致しない。

注5) 全ての剤形を含んでいる。

(参考) 分類別構成割合(数量ベース)(令和5年度)
(単位:%)

	構成割合
後発医薬品のない先発医薬品	14.9
後発医薬品のある先発医薬品	9.4
後発医薬品	52.6
その他の品目	23.2
計	100.0

1.7. 後発医薬品割合の市町村別状況

1. 後発医薬品割合の都道府県別分布状況

各都道府県における、市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）の最小値、中央値、最大値等を箱ひげ図により示している。

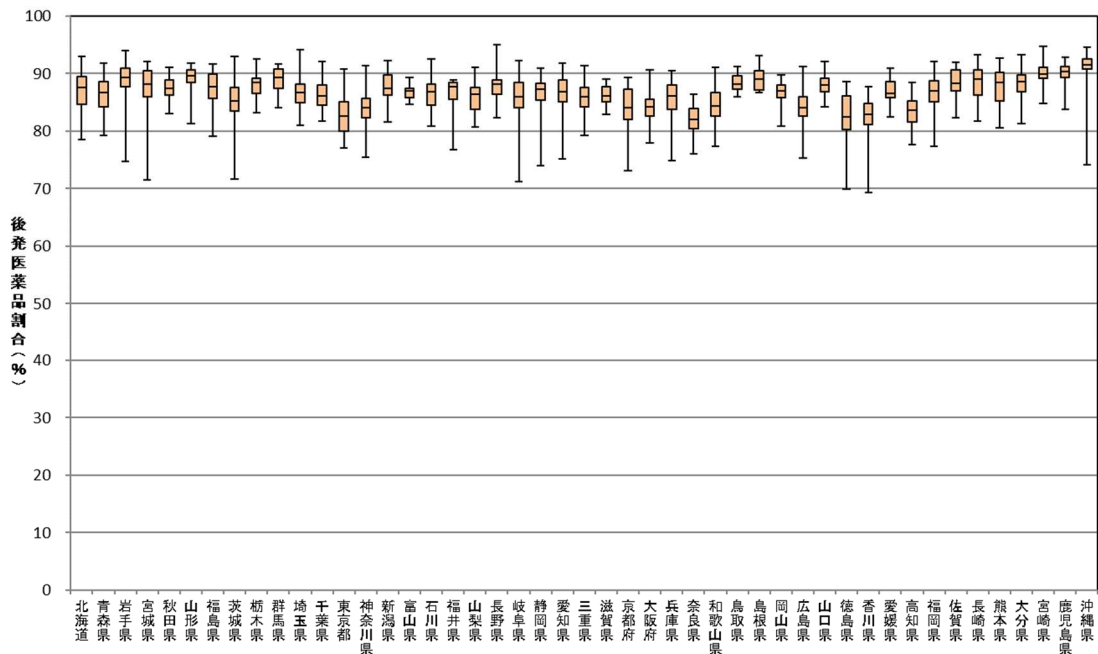
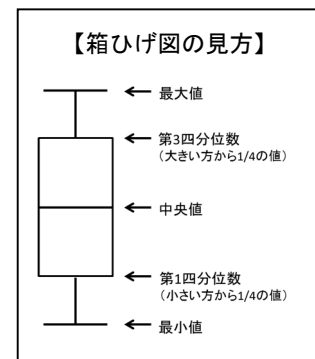


図1 各都道府県における市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）

- (注1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和6年3月調剤分)
- (注2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が3軒以下の地域は除外している。
- (注3) 長方形の下側の辺は第1四分位数、上側の辺は第3四分位数、中央の線は中央値、ひげの両端が最大値、最小値である。



この資料に関する詳細は、厚生労働省のホームページに掲載しています。

掲載場所 (URL) <https://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/23/gaiyou.html>

2. 後発医薬品割合の特に高い市町村

表 17 市町村別後発医薬品割合（数量ベース、新指標）（上位 20 位）

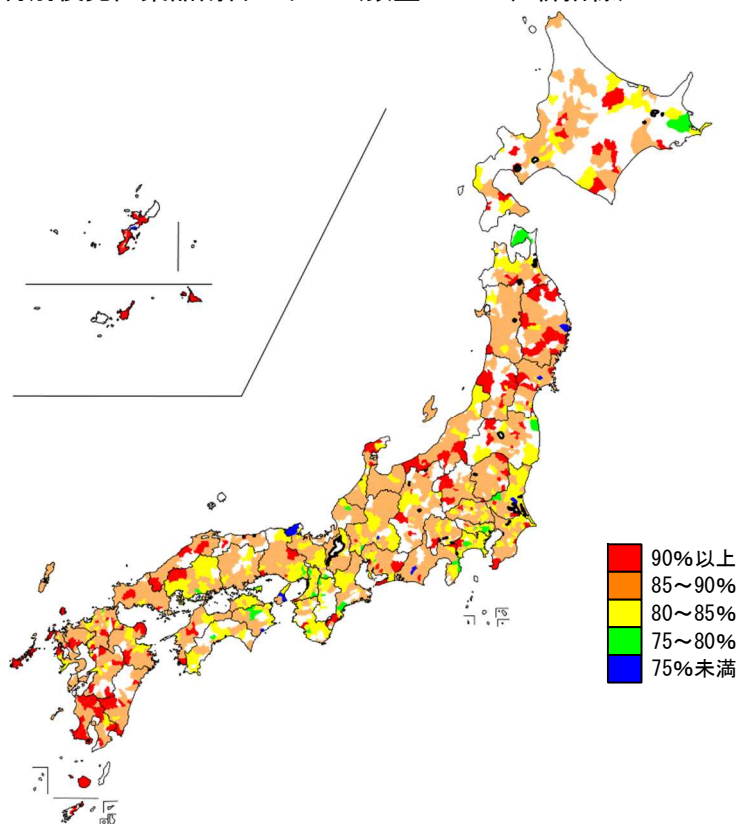
順位	都道府県	市町村名	割合 (%)	順位	都道府県	市町村名	割合 (%)
1	長野	キウケンキヤマチ 木曾郡木曾町	95.1	11	大分	タケタシ 竹田市	93.2
2	長野	シモイナケンカモリヤマチ 下伊那郡高森町	94.9	12	島根	カノアシケンヨシカチョウ 鹿足郡吉賀町	93.2
3	宮崎	ユウケンシントミチョウ 児湯郡新富町	94.7	13	沖縄	イシカキシ 石垣市	93.2
4	沖縄	シマシリケンヨナバルチョウ 島尻郡与那原町	94.6	14	茨城	ユウケンヤチヨマチ 結城郡八千代町	93.0
5	沖縄	ケニガミケンモトブチョウ 国頭郡本部町	94.3	15	沖縄	ナカミケンキタカグスクン 中頭郡北中城村	93.0
6	沖縄	シマシリケンヤエセチョウ 島尻郡八重瀬町	94.2	16	北海道	ヒヤマケンエサンチョウ 檜山郡江差町	92.9
7	埼玉	チチブケンナカトロマチ 秩父郡長瀬町	94.1	17	鹿児島	クマデケンヤクシマチョウ 熊毛郡屋久島町	92.8
8	岩手	カノヘケンカルマイマチ 九戸郡軽米町	94.1	18	熊本	アソケンミナミアソムラ 阿蘇郡南阿蘇村	92.7
9	岩手	クジシ 久慈市	93.5	19	島根	カノアシケンツワノチョウ 鹿足郡津和野町	92.7
10	長崎	ミナミマツウラケンシカミゴトウチョウ 南松浦郡新上五島町	93.3	20	熊本	アソケンカモリヤマチ 阿蘇郡高森町	92.6

(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 6 年 3 月調剤分)

(注 2) 各市町村において、保険請求のあった薬局が 3 軒以下の地域は除外している。

3. 市町村別後発医薬品割合マップ

図 2 市町村別後発医薬品割合マップ（数量ベース、新指標）



(注 1) 該当地域内に所在する薬局のデータにより集計している。(令和 6 年 3 月調剤分)

(注 2) 集計月において保険請求のあった薬局数が 3 軒以下の市町村は空白にしている。